

4 植生被覆地・緑被地等調査

4-1 植生被覆地・緑被地等の現況

1) 植生被覆地・緑被地・みどり率（区全域）

区全域（3,217.0ha）における「植生被覆地（率）」、「緑被地（率）」、「みどり（率）」を表 4-1、図 4-1、植生被覆分布図を図 4-6、緑被分布図を図 4-7 に示す。

表4-1 区全域の植生被覆地・緑被地・みどり率の状況

分 類				面積(ha)	構成比(%)	各指標値率
植生被覆地等	植生被覆地			581.40	18.07	植生被覆率 18.07%
	非植生被覆地			2,635.60	81.93	
	合 計			3,217.00	100.00	—
緑被地等	自然面	緑被地	樹木被覆地	436.36	13.56	緑被率 19.37%
			草地	158.10	4.91	
			農地	18.80	0.58	
			屋上緑化	9.78	0.30	
		計			623.04	19.37
		裸地	98.46	3.06	—	
			水面	69.07		2.15
	計			790.56		24.57
	人 工 面			2,426.44	75.43	
	合 計			3,217.00	100.00	
みどり等	みどり	公園以外の緑被地	483.97	15.04	みどり率 23.35%	
		公園以外の水面	65.91	2.05		
		公園面積	201.32	6.26		
		計	751.20	23.35		
	み ど り 以 外			2,465.80	76.65	—
合 計			3,217.00	100.00		

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

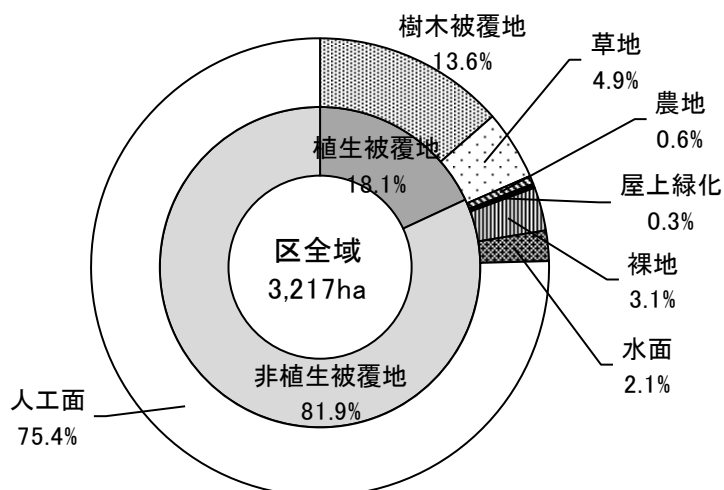


図 4-1 区全域の植生被覆地と緑被地等の構成

2) 3つの指標（植生被覆率・緑被率・みどり率）の概念

植生被覆率、緑被率、みどり率の各指標には、データの抽出手法等に以下のような相違点がある。また、植生被覆地・緑被地の模式図を図4-2、緑被地等の分類を図4-3に示す。

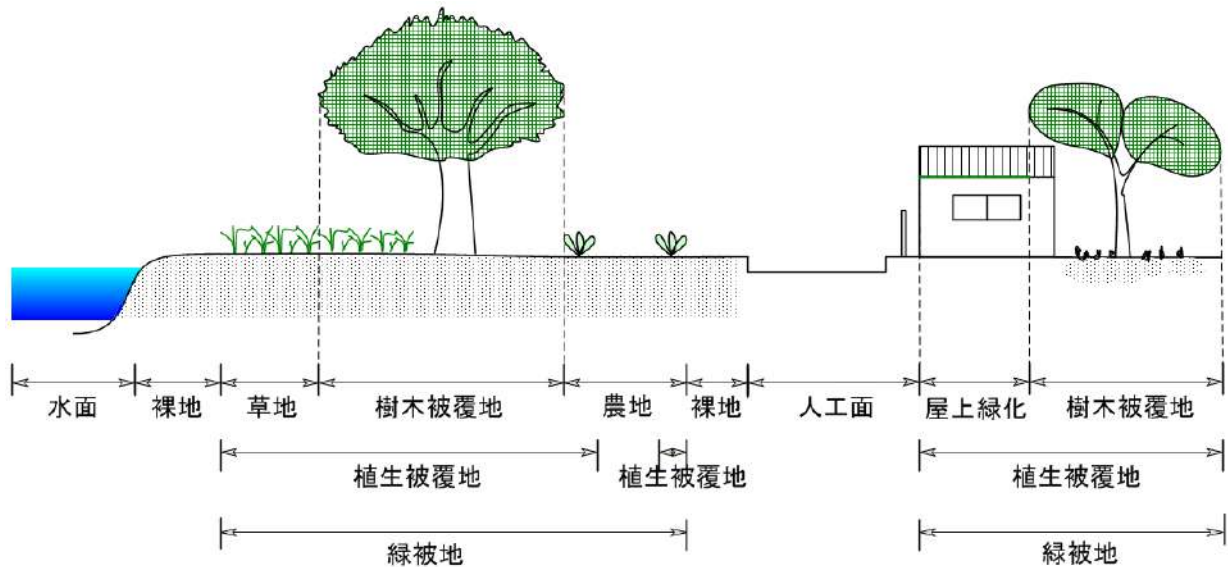
植生被覆率	・ 航空写真撮影時に植生に被覆されている範囲が、区域面積に占める割合 ・ 植生の区分はしない ・ 画像処理のみで抽出されたものを植生とする ・ 画像処理は、正規化植生指標（NDVI）※を用いて行い、一定の値以上のものを植生として抽出する ・ 抽出の最小単位は、空中写真データの画素単位（0.01㎡）とする（過去の調査と同じ） $\text{植生被覆率}(\%) = \frac{\text{植生に覆われた区域の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$
緑被率	・ 植生被覆率を算出したデータを基に、樹木被覆地、草地、農地、屋上緑化を区分したもの ・ 植生の区分は、目視判読により行う ・ 農地は、敷地として抽出する ・ 緑被抽出の最小単位は、「緑被率標準調査マニュアル」（東京都）の水準Ⅰに準拠して、1㎡以上とする（過去の調査と同じ） $\text{緑被率}(\%) = \frac{(\text{樹木被覆地} + \text{草地} + \text{農地} + \text{屋上緑化}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$
みどり率	・ 緑被率の算出に用いた面積に、公園の緑被以外、公園以外の水面の面積を足した面積が、区域に占める割合 ・ 抽出の最小単位は「緑被率標準調査マニュアル」（東京都）の水準Ⅰに準拠して、1㎡以上とする（過去の調査と同じ） $\text{みどり率}(\%) = \frac{(\text{公園の全区域} + \text{緑被地}^{※}) + \text{水面}^{※}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$ ※）公園区域に含まれないもの

【植生被覆率と緑被率の特徴】

- ・ 「植生被覆地」は、空中写真による植生指標が一定以上のものを抽出しているため、作物（植物体）のない農地は植生被覆地として抽出されない。また、日陰にある樹木や草地、植生指数が高くない特殊な植物（屋上緑化に多い）などを抽出しにくいという特徴がある。
- ・ 「緑被地」は植生の種別や土地利用を判読し面として抽出するため、作物のない農地や、「植生被覆地」として抽出されにくい植生を緑被地としている。
- ・ 本調査結果で、「植生被覆地」面積よりも「緑被地」面積が大きい数値となっているのは、上記の理由によるものと考えられる。

※正規化植生指標：植生指標とは、植物による光の反射の特徴を生かし衛星データを使って簡易な計算式で植生の状況を把握することを目的として考案された指標で、植物の量や活力を表す。代表的な植生指標として、NDVI(Normalized Difference Vegetation Index：正規化植生指標)がある。

$$\text{NDVI} = (\text{IR} - \text{R}) / (\text{IR} + \text{R})$$
 IR；近赤外バンド値、R；可視光赤バンド値



※緑 被 地＝樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化

※植生被覆地＝植生指数が一定以上を示している植生（緑）に覆われている箇所

※人工面＝緑被地、裸地、水面以外の箇所

図4-2 植生被覆地・緑被地の模式図

【緑地の抽出区分】

- ① 樹木被覆地…樹木、樹林に覆われた土地。樹冠投影部分とする。
- ② 草地…草本類に覆われた土地。
- ③ 農地…畑地（樹木畑・果樹園を含む）、休耕地等の一敷地で農地利用している土地。
- ④ 屋上緑化…建物の屋上部や人工地盤上にある樹木または草地。
- ⑤ 裸地…人工構造物や樹木等で被覆されておらず、土壌が露出している土地。
- ⑥ 水面…河川や湖沼（プールは除く）の水面部。

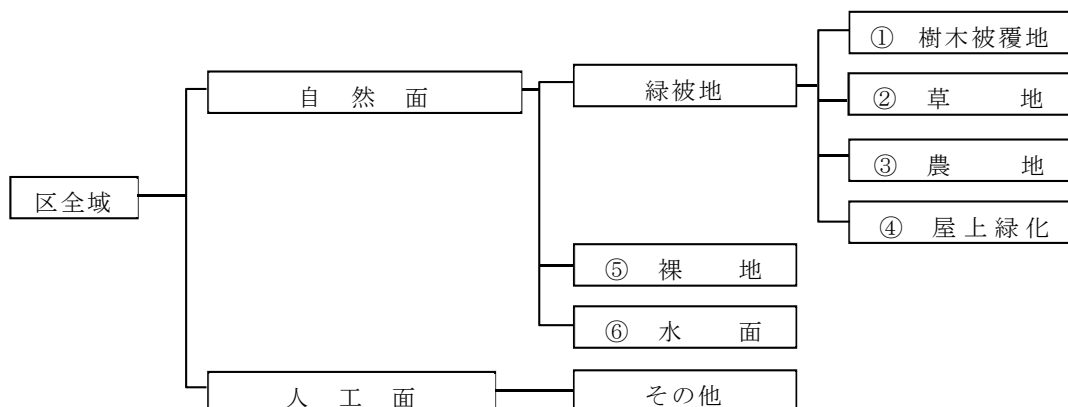


図4-3 緑被地等の分類

3) 調査方法（空中写真撮影）

3) - 1 空中写真撮影（デジタル空中写真）

- ・ 空中写真の撮影は、GNSS／IMU※1)装置を搭載した航空機デジタルセンサーシステムを用いて、撮影から緑被の判読までの一連の作業をデジタル手法で実施した。
- ・ 樹木の倒れ込みを極力少なくするために、デジタルセンサーシステム諸元及び撮影諸元を表4-2のとおりとした。図4-4に空中写真の撮影コースを示す。

表 4-2 デジタル空中写真撮影の諸元

項 目	摘 要
撮 影 範 囲	板橋区全域（32.17 k m ² ）
撮 影 時 期	令和元年 8 月 25 日、9 月 10 日
撮 影 縮 尺	1/10,000
撮 影 コース	20 コース
撮 影 重複度	オーバーラップ(80%)、サイドラップ(80%)
デジタル計測機器	デジタル航空エリアセンサー
取得画像データ	PAN（パंकロ）/RGB（カラー）/NIR（近赤外線）
地 上 解 像 度	10 c m以内

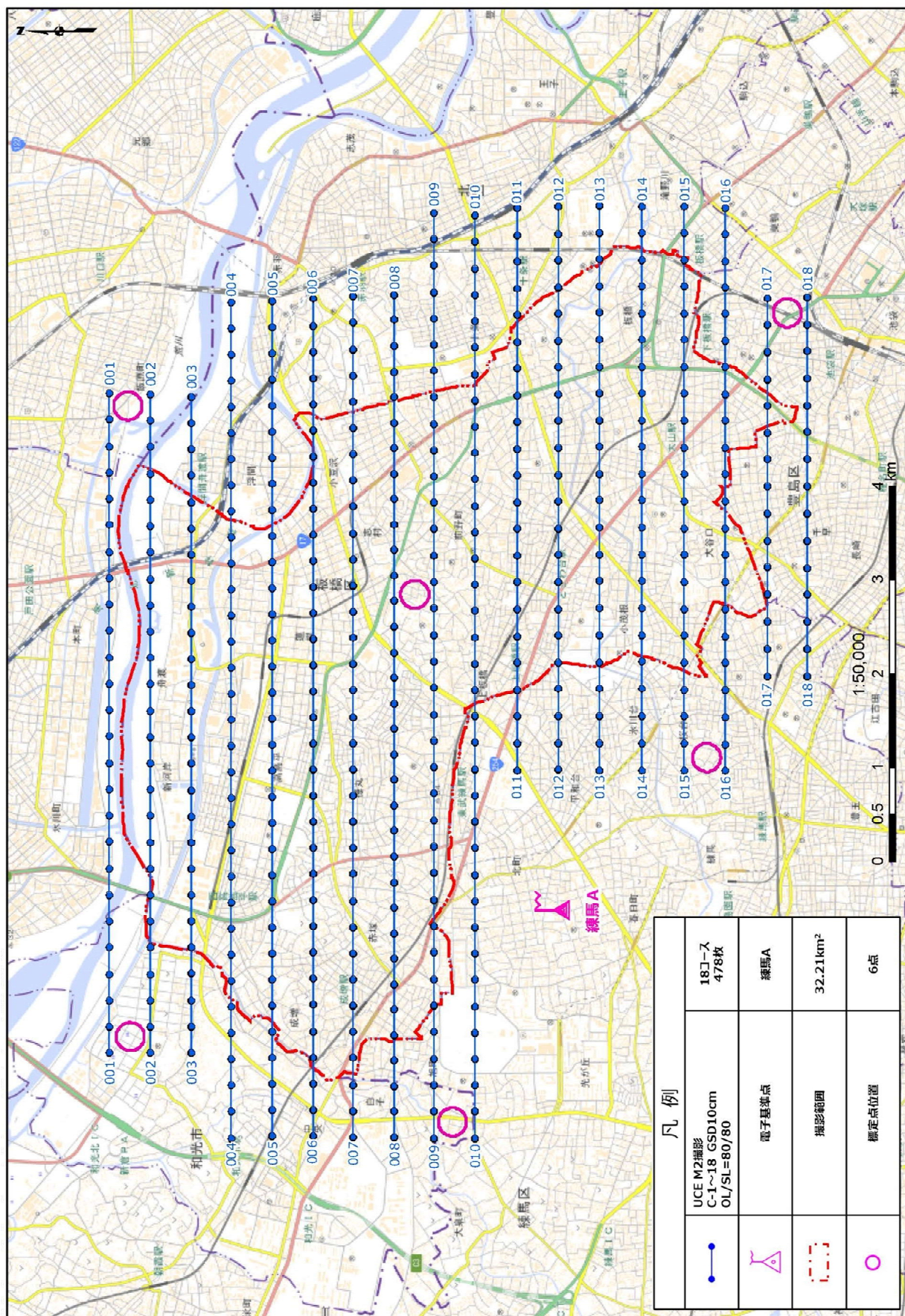
3) - 2 空中写真画像正射変換加工（デジタルオルソ作成）

- ・ 撮影したデジタル空中写真は画像処理ソフトを用いて正射変換し、デジタルオルソ画像※2)を作成した。
- ・ 作成するオルソ画像は、通常のカラールソおよび赤外カラールソの2種類で、東京都縮尺2,500分の1地形図データ等と整合するものとした。
- ・ カラールソデータならびに赤外カラールソデータの地上解像度は10cmとした。

※1) GNSS は GPS、GLONASS、準天頂衛星等の衛星群を用いた測位システムの総称で、IMU は機器の傾き等を知るための計測機器。

これらを組み合わせることにより、航空機の位置と姿勢を高精度に知ることができる。

※2) 空中写真などの画像に標高データを与えて、高低差による歪みを除去し、地図と同じ正射投影に変換した画像。



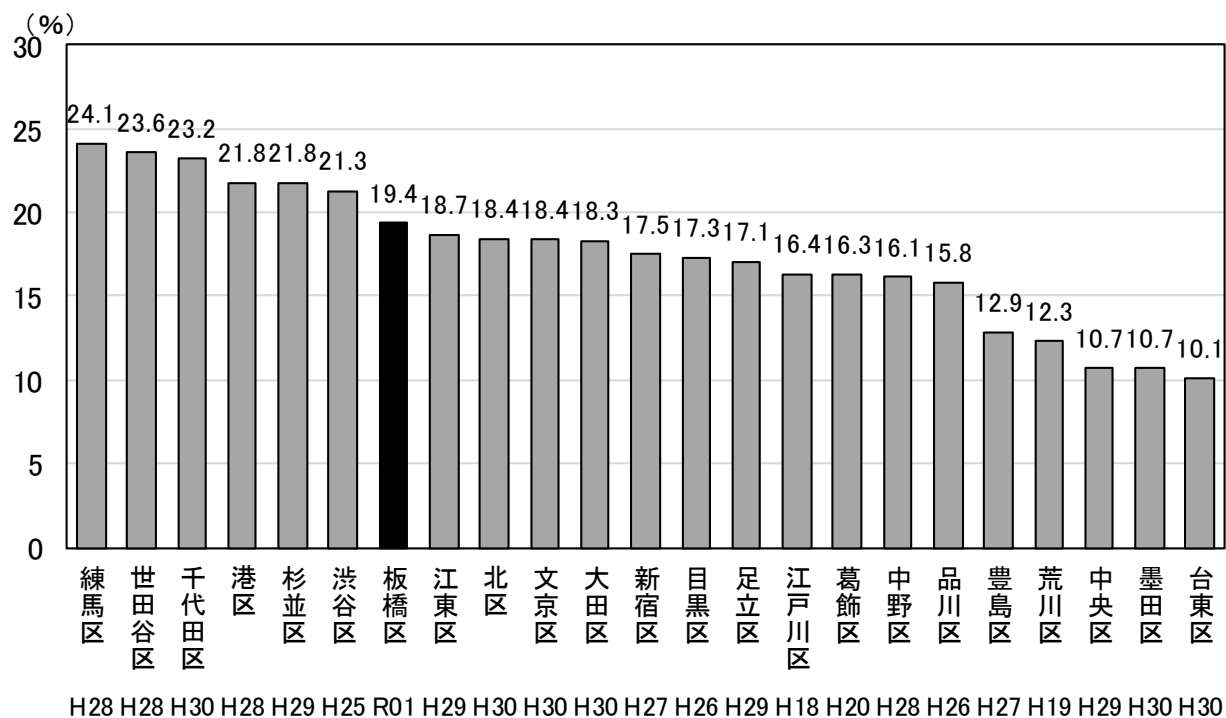
この地図は、国土地理院発行の数値地図50000を背景に使用して作成しました。

図4-4 デジタル空中写真の撮影コース

4) 23区の緑被率の比較

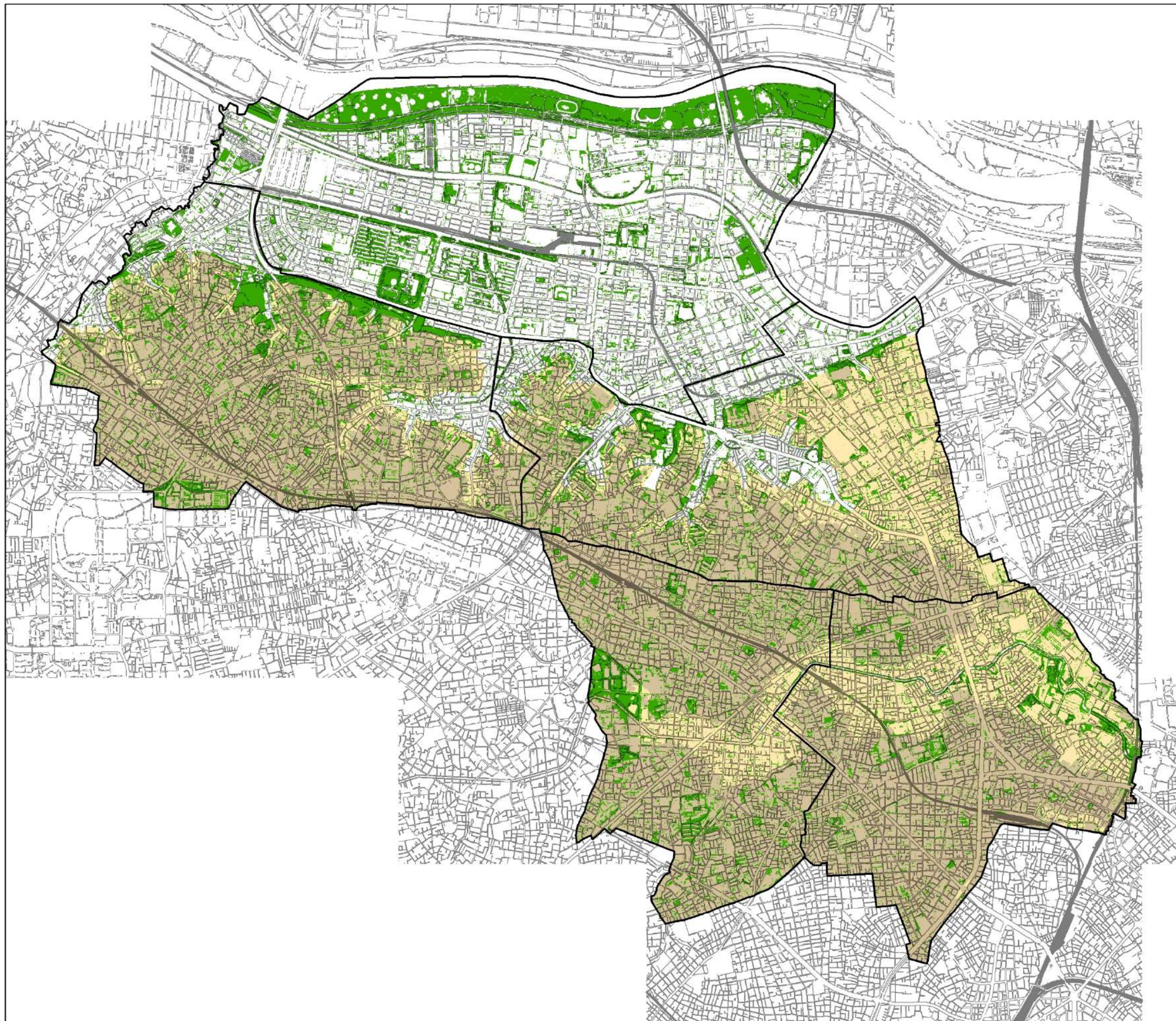
23区の緑被率を図4-5に示す。

現在公表されている各区の緑被率を比較すると、本区の緑被率は上位から7番目であった。ただし各区の緑被率は、調査方法、調査精度、調査年度が図4-5に示すようにそれぞれ異なっているため、単純な数値比較は適当ではない。



※出典：各区のホームページ、報告書等

図4-5 23区の緑被率



凡例

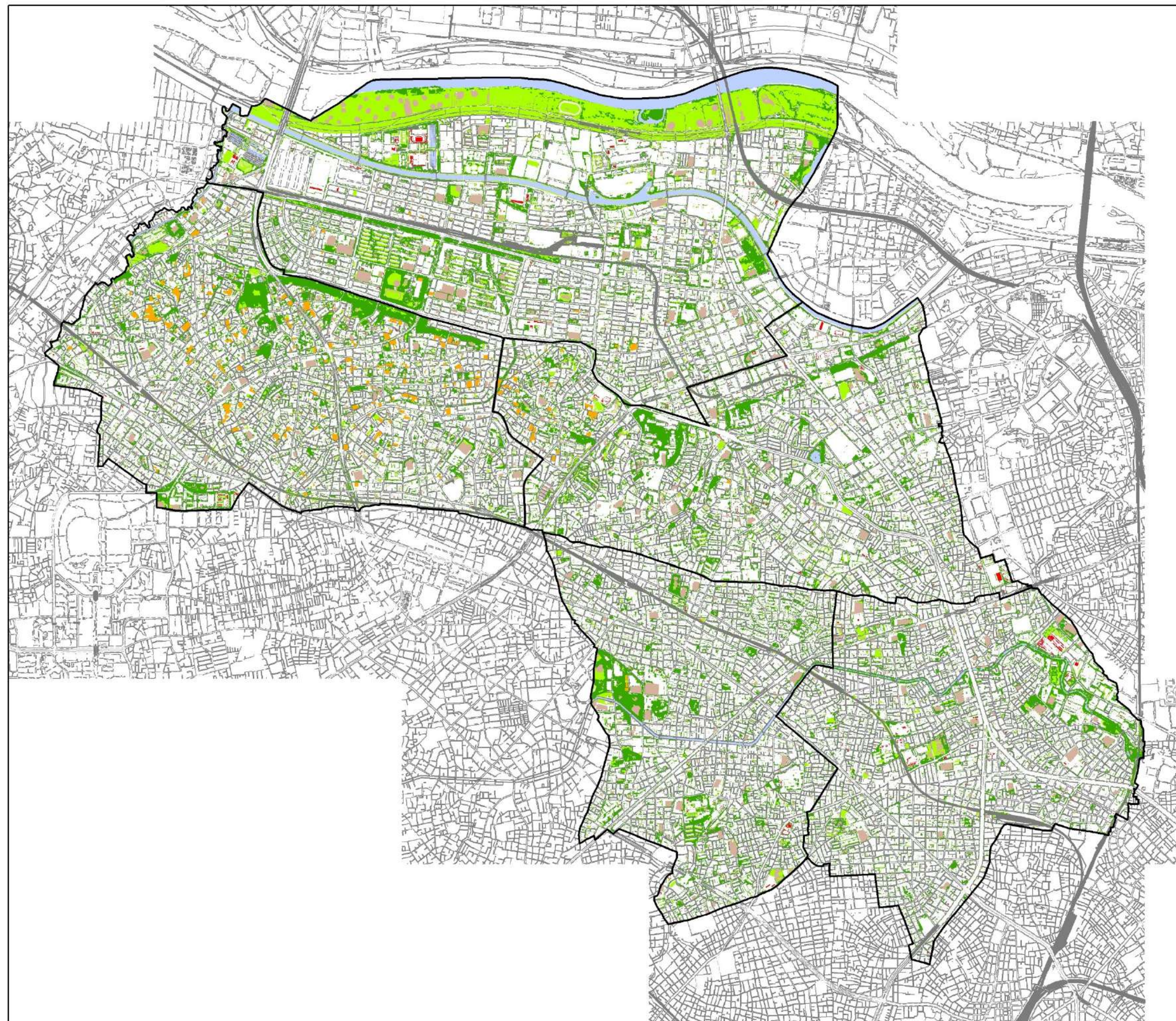
- 植生被覆地
- 台地
- 斜面



0 500 1,000 2,000 m

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基交著第5号

図 4-6 植生被覆分布図



緑被地等区分

- 樹木被覆地
- 草地
- 農地
- 屋上緑化
- 水面
- 裸地



0 500 1,000 2,000 m

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基交著第5号

図 4-7 緑被分布図

5) 植生被覆地・緑被地の状況分析（5地域別）

- ・ 5地域別の植生被覆地と緑被地等の状況を表4-3、植生被覆率・緑被率の順位を表4-4、樹木被覆率・草地率・農地率の順位を表4-5に示す。
- ・ 「植生被覆率」は高島平地域が最も高く、次いで赤塚地域、志村地域、常盤台地域の順となっており、板橋地域が最も低い。
- ・ 「緑被率」は高島平地域が最も高く、次いで赤塚地域、志村地域、常盤台地域、板橋地域の順であった。
- ・ 「樹木被覆率」では赤塚地域が最も高く、次いで志村地域、常盤台地域であり、「緑被率」が最も高い高島平地域は第4位であった。
- ・ 「草地率」は高島平地域以外の4地域が1～2％程度に対して、高島平地域は12.44％と特に高いが、荒川河川敷の草地によるものである。
- ・ 「農地」の多くが赤塚地域にあり、他4地域の「農地率」は1％未満であった。

表4-3 5地域別の植生被覆地と緑被地等の状況

地域名	地域面積	植生被覆地	上段：面積 (ha) 下段：構成比 (%)						
			樹木被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	水面	裸地
板橋	525.0	70.05	61.52	8.90	0.02	2.33	72.77	2.36	14.90
	—	13.34	11.72	1.69	0.00	0.44	13.86	0.45	2.84
常盤台	467.1	73.70	66.73	7.58	0.32	1.02	75.66	2.90	14.68
	—	15.78	14.29	1.62	0.07	0.22	16.20	0.62	3.14
志村	644.6	102.12	92.09	11.93	2.76	2.10	108.89	3.83	15.27
	—	15.84	14.29	1.85	0.43	0.33	16.89	0.59	2.37
赤塚	655.0	119.65	103.40	14.54	14.78	1.27	133.99	0.89	20.56
	—	18.27	15.79	2.22	2.26	0.19	20.46	0.14	3.14
高島平	925.3	215.87	112.61	115.14	0.92	3.06	231.73	59.08	33.05
	—	23.33	12.17	12.44	0.10	0.33	25.04	6.39	3.57
区全体	3,217.0	581.4	436.36	158.10	18.80	9.78	623.04	69.07	98.46
	—	18.07	13.56	4.91	0.58	0.30	19.37	2.15	3.06

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表4-4 植生被覆率・緑被率の順位

地域	順位	植生被覆率 (%)	緑被率 (%)	主な緑被地
高島平	1	23.33	25.04	荒川河川敷、高島平団地、都立赤塚公園
赤塚	2	18.27	20.46	都立赤塚公園、都市機構光が丘パークタウン周辺
志村	3	15.84	16.89	サンシティ、熊野神社周辺、小豆沢公園、小豆沢神社周辺
常盤台	4	15.78	16.20	都立城北中央公園、心身障害児総合医療療育センター周辺
板橋	5	13.34	13.86	石神井川周辺、都健康長寿医療センター周辺
区平均		18.07	19.37	

表4-5 樹木被覆率※3)・草地率※4)・農地率の順位※5)

地域	順位	樹木被覆率	順位	草地率	順位	農地率
赤塚	1	15.79	2	2.22	1	2.26
志村	2	14.29	3	1.85	2	0.43
常盤台	3	14.29	5	1.62	4	0.07
高島平	4	12.17	1	12.44	3	0.10
板橋	5	11.72	4	1.69	5	0.00
区平均		13.56		4.91		0.58

※順位は小数第3位以下の数値を反映している

【板橋地域】

- ・「植生被覆率」、「緑被率」、「樹木被覆率」、「農地率」とともに5地域の中で最も低い。
- ・主な「緑被地」は、石神井川沿いのサクラ並木とその周辺に位置する公園緑地、敷地規模の大きい医療系施設、社寺境内地、集合住宅の施設緑地等であった。

【常盤台地域】

- ・主な「緑被地」は、都立城北中央公園、板橋区平和公園、茂呂山公園等の公園緑地、敷地規模の大きい医療系施設、学校の施設緑地、社寺境内地の緑被地であった。

【志村地域】

- ・主な「緑被地」は、サンシティと周辺の公園緑地、熊野神社、志村小学校、志村城山公園から薬師の泉、小豆沢公園、小豆沢神社にかけての斜面緑地、敷地規模の大きい集合住宅の施設緑地であった。
- ・地域西側の西台には「農地」の分布も多く、農地率は2位であった。

【赤塚地域】

- ・「樹木被覆率」は15.79%と5地区中最も高く、また「農地率」も2.26%で最も高い。「農地」面積は14.78haで区全体の「農地」の約8割を占めている。
- ・主な「緑被地」は都立赤塚公園、赤塚植物園等の公園緑地、敷地規模の大きい集合住宅の施設緑地、社寺境内地であった。

【高島平地域】

- ・荒川河川敷を含むため「草地率」は5地域中最も高く、「緑被地」面積の約半分が「草地」であった。
- ・「緑被率」は5地域中最も高いが、「樹木被覆率」は2番目に低い。
- ・主な「緑被地」は荒川河川敷、高島平団地、都立赤塚公園等の公園緑地であった。

※3) (樹木被覆地÷地域面積) × 100

※4) (草地÷地域面積) × 100

※5) (農地÷地域面積) × 100

6) 植生被覆地・緑被地の状況分析(32地区別)

- ・ 地区別の植生被覆率と緑被率等の状況を表4-6、地区別植生被覆率区分図を図4-8、地区別緑被率区分図を図4-9に示す。
- ・ 「植生被覆率」の高い順は新河岸地区(37.05%)、加賀地区(32.09%)、四葉地区(32.05%)、舟渡地区(30.17%)、中台地区(24.07%)であり、「緑被率」は新河岸地区(39.38%)、四葉地区(33.62%)、舟渡地区(33.08%)、加賀地区(32.43%)、中台地区(24.25%)の順であった。
- ・ 緑被率が高い地区は荒川河川敷、都立公園、大規模集合住宅等のまとまりのある「緑被地」が分布する地区であった。
- ・ 「植生被覆率」が低いのは幸町(9.07%)、大山(9.33%)、蓮沼町(10.47%)、仲宿(10.87%)、板橋(11.17%)であった。
- ・ 「緑被率」が低いのは幸町(9.74%)、大山(10.20%)、仲宿(11.27%)、板橋(11.42%)、蓮沼町(11.57%)であった。
- ・ 「緑被率」25%以上の地区は4地区、20%以上25%未満は5地区、15%以上20%未満は13地区、10%以上15%未満は9地区、10%未満は1地区であった。

表 4-6 地区別の植生被覆率と緑被率等の状況

地区名	地区面積 (ha)	植生被覆地 (ha)	植生被覆率 (%)	樹木被覆率 (%)	草地率 (%)	農地率 (%)	屋上緑化率 (%)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	100.5	11.23	11.17	10.37	0.79	0.00	0.26	11.47	11.42
加賀	48.7	15.63	32.09	26.38	4.12	0.00	1.93	15.79	32.43
仲宿	57.6	6.26	10.87	10.48	0.62	0.00	0.17	6.49	11.27
幸町	75.6	6.86	9.07	8.82	0.74	0.00	0.18	7.36	9.74
大山	79.1	7.38	9.33	8.39	1.57	0.02	0.21	8.07	10.20
中板橋	100.3	13.05	13.01	10.53	2.39	0.00	0.58	13.54	13.50
富士見町	63.2	9.65	15.27	13.24	2.43	0.00	0.23	10.04	15.89
常盤台	106.1	14.23	13.41	12.90	1.05	0.03	0.18	15.03	14.17
向原	43.2	6.40	14.81	13.96	1.77	0.05	0.33	6.96	16.10
大谷口	82.7	10.78	13.04	11.65	1.40	0.00	0.38	11.11	13.43
小茂根	90.9	16.51	18.16	15.81	2.30	0.03	0.16	16.64	18.31
東新町	67.2	9.25	13.77	13.11	0.56	0.03	0.13	9.30	13.83
上板橋	77.0	16.54	21.48	18.44	2.70	0.28	0.18	16.63	21.59
蓮沼町	113.7	11.90	10.47	9.92	1.20	0.00	0.45	13.15	11.57
小豆沢	87.4	14.38	16.45	14.90	2.08	0.01	0.42	15.21	17.41
志村	71.9	10.69	14.87	14.36	0.88	0.00	0.29	11.16	15.52
前野町	143.6	21.37	14.88	13.58	1.85	0.07	0.27	22.63	15.76
中台	71.6	17.24	24.07	22.42	1.66	0.01	0.15	17.36	24.25
若木	53.2	8.14	15.30	12.79	3.25	0.02	0.17	8.63	16.22
東坂下	45.8	9.31	20.32	16.50	4.70	0.00	0.48	9.93	21.69
西台	85.1	16.45	19.33	15.61	2.80	3.10	0.26	18.52	21.76
徳丸	187.0	30.03	16.06	13.96	1.87	2.63	0.17	34.85	18.63
四葉	48.3	15.48	32.05	27.74	2.57	3.14	0.18	16.24	33.62
赤塚	195.4	35.76	18.30	15.96	2.20	2.49	0.11	40.55	20.75
赤塚新町	48.9	9.32	19.07	17.19	2.09	0.17	0.50	9.76	19.95
成増	142.0	24.37	17.16	14.03	2.81	2.07	0.25	27.21	19.16
三園	57.7	8.97	15.54	11.20	5.10	0.82	0.49	10.16	17.60
坂下	96.7	11.40	11.79	11.55	1.20	0.00	0.26	12.58	13.00
蓮根	93.8	13.04	13.91	12.77	1.67	0.40	0.31	14.22	15.16
舟渡	208.1	62.79	30.17	10.03	22.83	0.00	0.22	68.84	33.08
高島平	313.0	57.10	18.24	15.12	3.58	0.15	0.29	59.93	19.15
新河岸	161.7	59.90	37.05	8.31	30.48	0.03	0.56	63.68	39.38
区全域	3,217.0	581.40	18.07	13.56	4.91	0.58	0.30	623.04	19.37

※順位は小数第3位以下の数値を反映している

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

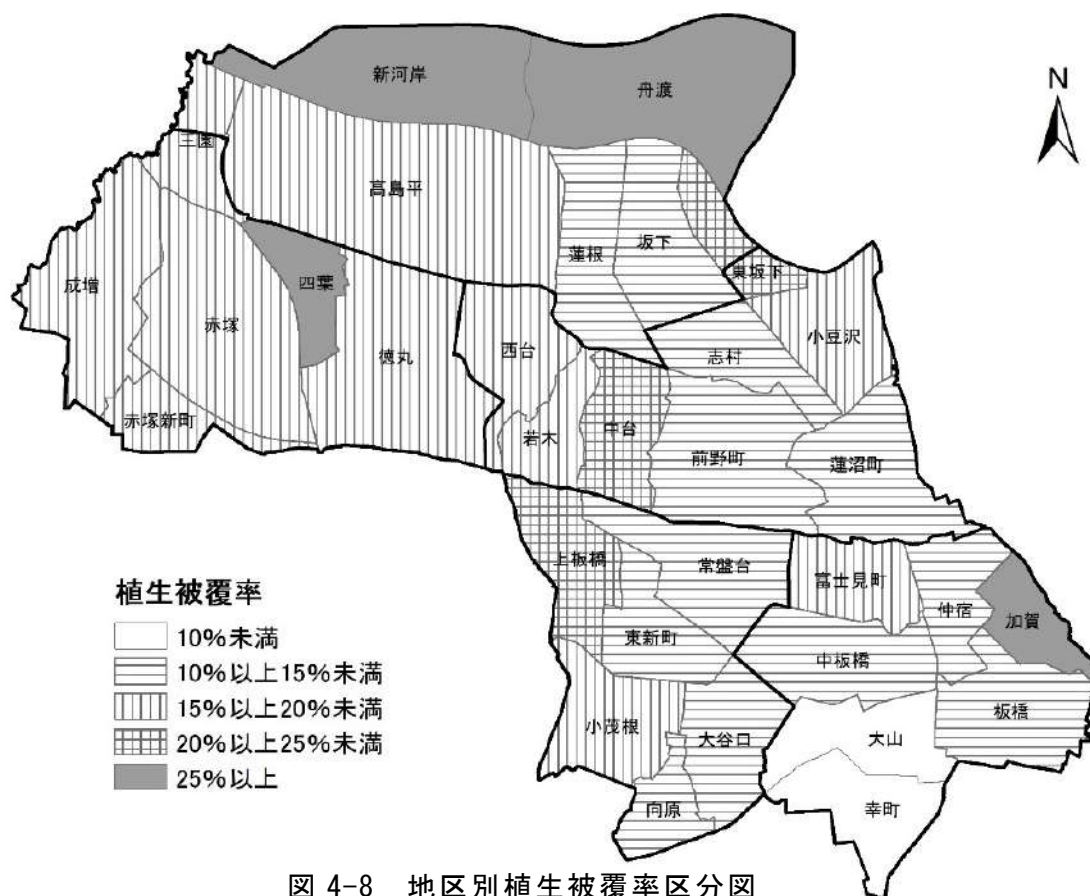


図 4-8 地区別植生被覆率区分図

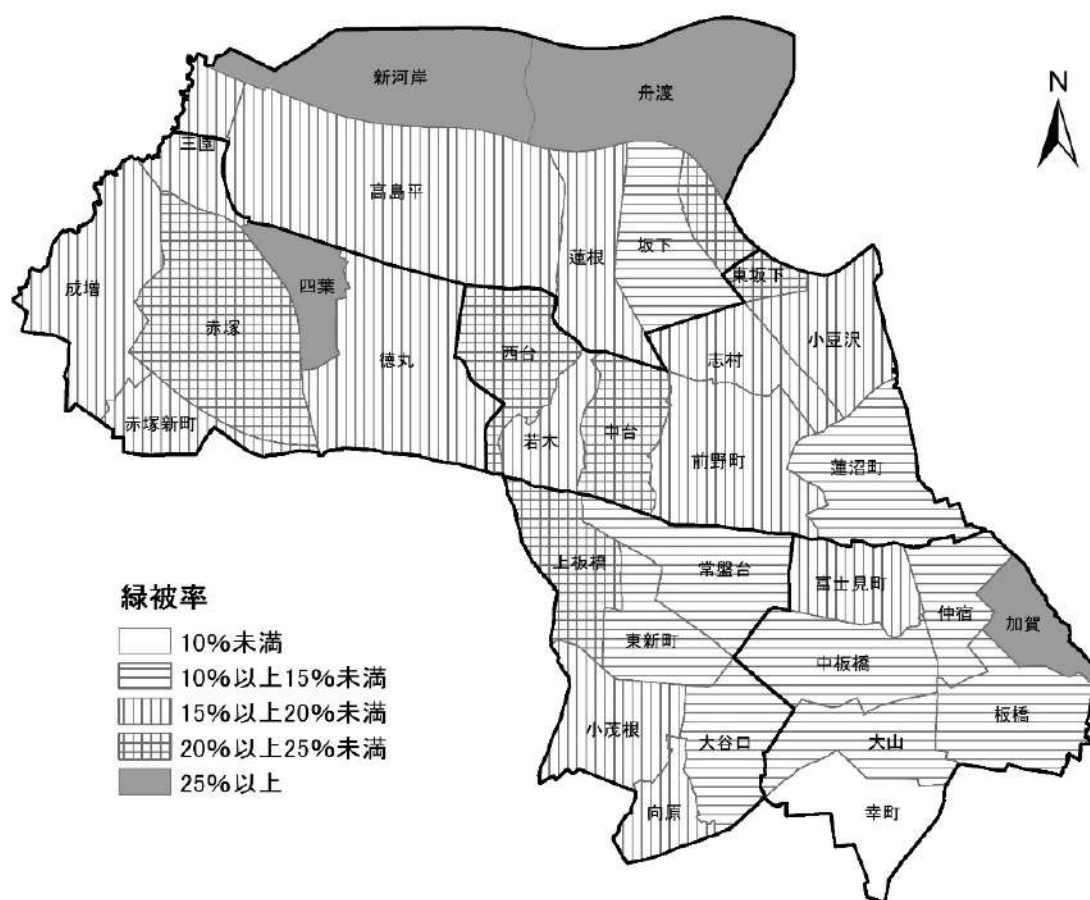


図 4-9 地区別緑被率区分図

7) 植生被覆地・緑被地の状況分析（町丁目別）

- 町丁目別緑被率区分を表4-7、緑被率の上位5町丁目を表4-8、緑被率の下位5町丁目を表4-9、植生被覆率の上位5町丁目を表4-10、植生被覆率の下位5町丁目を表4-11、町丁目別植生被覆率区分図を図4-10、町丁目別緑被率区分図を図4-11に示す。
- 「緑被率」が25%以上の町丁目数は26町丁目で、全体の19.4%であった。
- 町丁目数が最も多いのが「緑被率」10%以上15%未満で48町丁目であった。
- 「緑被率」が10%未満の町丁目数は19町丁目で、全体の14.2%であった。
- 「緑被率」高い町丁目は都立城北中央公園の位置する桜川一丁目、荒川戸田橋緑地の位置する新河岸三丁目、都立赤塚公園や竹の子公園の位置する大門、都立赤塚公園や紅梅公園の位置する徳丸八丁目、荒川河川敷と都立浮間公園の位置する舟渡二丁目であった。
- 「緑被率」が低いのは上板橋三丁目、中板橋、高島平六丁目、大谷口北町、高島平七丁目であった。

表4-7 町丁目別緑被率区分

緑被率ランク	町丁目数	割合(%)
10%未満	19	14.2
10%以上15%未満	48	35.8
15%以上20%未満	31	23.1
20%以上25%未満	10	7.5
25%以上	26	19.4
合計	134	—

表4-8 緑被率の上位5町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	桜川一丁目	67.51
2	新河岸三丁目	48.37
3	大門	46.45
4	徳丸八丁目	45.93
5	舟渡二丁目	45.25
	区平均	19.37

表4-9 緑被率の下位5町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	上板橋三丁目	2.88
2	中板橋	5.61
3	高島平六丁目	6.55
4	大谷口北町	7.38
5	高島平七丁目	7.65
	区平均	19.37

表4-10 植生被覆率の上位5町丁目

順位	町丁目	植生被覆率(%)
1	桜川一丁目	69.75
2	大門	45.53
3	新河岸三丁目	45.38
4	高島平三丁目	45.36
5	徳丸八丁目	43.63
	区平均	18.07

表4-11 植生被覆率の下位5町丁目

順位	町丁目	植生被覆率(%)
1	上板橋三丁目	2.21
2	高島平六丁目	4.44
3	中板橋	4.85
4	高島平七丁目	5.86
5	赤塚新町二丁目	6.82
	区平均	18.07

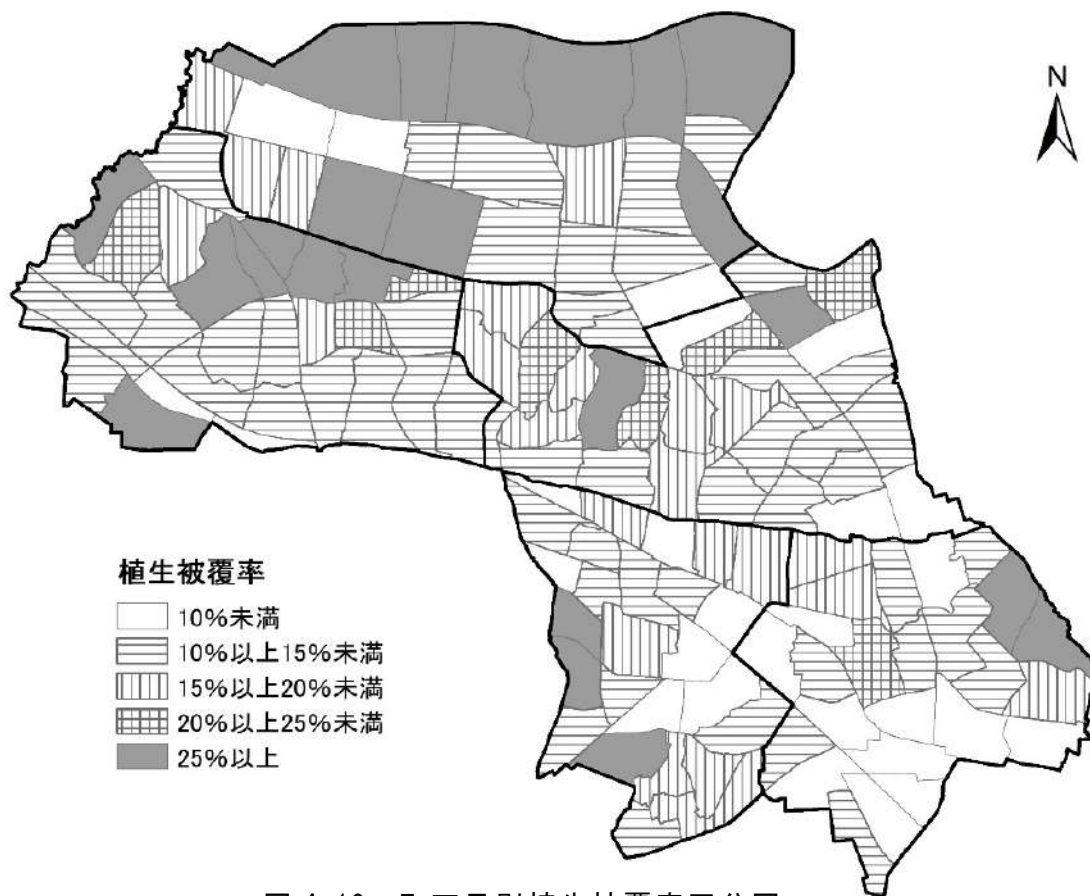


図 4-10 町丁目別植生被覆率区分図

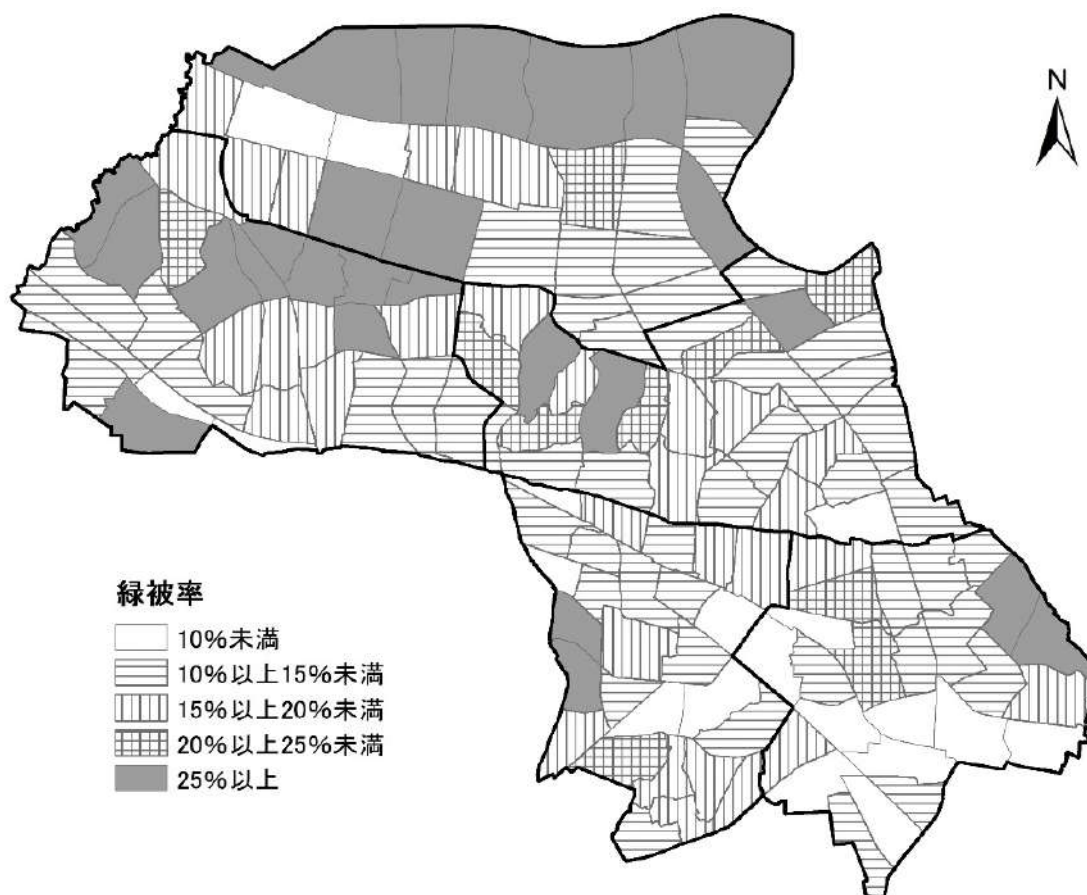


図 4-11 町丁目別緑被率区分図

8) 土地利用別の緑被地

8) - 1 土地利用別にみた緑被地等の分布

- ・ 土地利用別の敷地面積と緑被地面積の構成を図4-12、土地利用別の緑被地等の状況を表4-12に示す。
- ・ 平成28年度東京都土地利用現況調査結果による土地利用区分（P13 図3-6）による敷地面積の構成は、住宅用地が最も多く39.1%、次いで道路が19.7%、空地が13.2%である（P12 表3-2参照）。
- ・ 緑被地面積では空地※6)の緑被地が最も多く206.89haで、緑被地面積全体の33.2%、次いで住宅用地の緑被地が192.80ha、全体の30.9%で、空地と住宅用地で区全域の緑被地の約6割を占めている。
- ・ 各土地利用の緑被率では林野が87.97%と最も高く、次いで農業用地の79.56%、空地の48.57%、公共用地の24.31%であった。
- ・ 宅地の中では公共用地の緑被率が最も高く24.31%、次いで住宅の15.34%であった。
- ・ 区全体面積に占める面積割合の高い道路の緑被率は10.65%であった。
- ・ 緑被率が最も低い土地利用は、商業用地の6.96%であった。

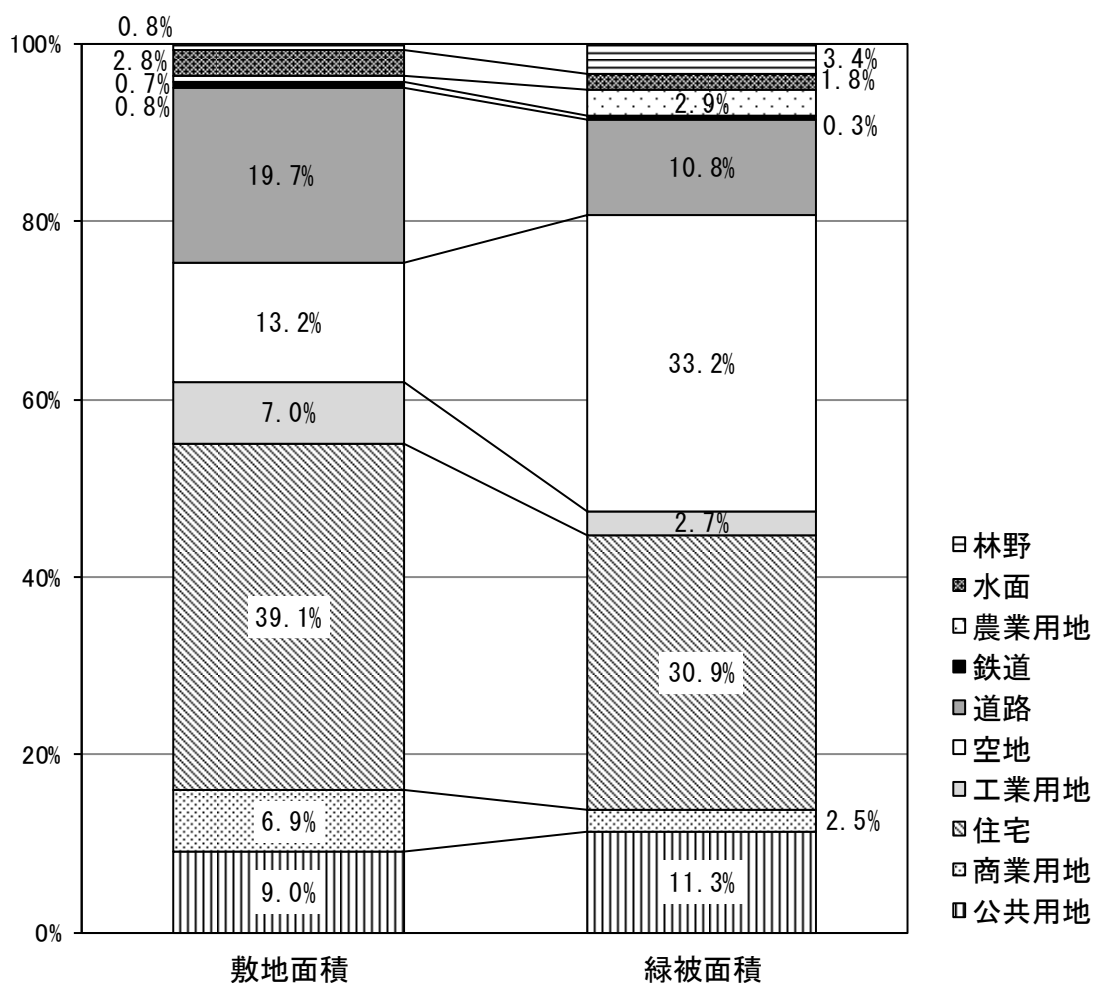


図4-12 土地利用別の敷地面積と緑被地面積の構成

※6) 屋外利用地、公園・運動場等、未利用地等

表4-12 土地利用別の緑被地等の状況

土地利用		敷地面積	樹木	草地	農地	屋上緑化	緑被地	緑被率	水面・裸地	人工面
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(ha)
公共用地	官公庁施設	8.6	0.86	0.10	0.00	0.10	1.07	12.35	0.06	7.52
	教育施設	144.2	23.67	4.04	0.10	1.69	29.51	20.47	32.76	81.89
	文化施設	3.8	0.69	0.02	0.00	0.05	0.76	20.09	0.06	2.96
	宗教施設	23.4	9.79	0.36	0.16	0.02	10.32	44.05	0.42	12.69
	医療施設	27.6	5.09	0.50	0.00	0.73	6.33	22.97	0.22	21.01
	厚生施設	30.9	5.17	1.45	0.01	0.47	7.10	22.98	1.36	22.44
	供給施設	23.6	2.74	2.95	0.00	0.19	5.89	24.98	1.14	16.53
	処理施設	28.8	6.03	3.21	0.00	0.48	9.72	33.78	1.41	17.65
	計	290.8	54.04	12.64	0.27	3.75	70.70	24.31	37.44	182.70
商業用地	事務所建築物	49.1	3.52	0.42	0.00	0.41	4.35	8.85	0.29	44.49
	商業施設	52.4	2.73	0.26	0.00	0.37	3.36	6.42	0.75	48.25
	公衆浴場等	2.7	0.28	0.03	0.00	0.02	0.32	11.86	0.00	2.37
	住商併用建物	106.1	4.94	0.45	0.06	0.51	5.96	5.61	0.70	99.42
	宿泊施設	1.1	0.08	0.12	0.00	0.01	0.21	19.71	0.00	0.85
	遊興施設	5.2	0.31	0.01	0.00	0.04	0.36	6.93	0.02	4.85
	スポーツ施設	5.7	0.76	0.10	0.00	0.06	0.92	16.01	0.14	4.68
	計	222.3	12.62	1.39	0.06	1.41	15.48	6.96	1.91	204.91
住宅	独立住宅	632.9	87.99	8.03	1.72	0.50	98.24	15.52	4.21	530.49
	集合住宅	624.1	75.76	16.21	0.25	2.33	94.56	15.15	5.38	524.15
	計	1,257.0	163.75	24.24	1.97	2.83	192.80	15.34	9.60	1054.64
工業用地	専用工場	104.1	7.07	0.99	0.03	0.37	8.46	8.13	1.03	94.65
	住居併用工場	34.7	1.40	0.23	0.01	0.12	1.76	5.08	0.36	32.58
	運輸施設	43.9	2.03	0.55	0.01	0.16	2.75	6.26	0.19	40.97
	倉庫施設	42.3	3.01	0.32	0.11	0.25	3.70	8.74	0.85	37.75
	計	225.0	13.51	2.09	0.16	0.91	16.67	7.41	2.43	205.95
空地	屋外利用地	152.7	10.70	3.34	0.29	0.04	14.37	9.41	19.32	119.04
	公園・運動場等	233.2	96.12	75.33	0.36	0.71	172.52	73.97	26.06	34.65
	未利用地等	40.0	11.86	7.60	0.44	0.10	19.99	49.96	3.28	16.75
	計	426.0	118.68	86.27	1.10	0.85	206.89	48.57	48.66	170.44
道路		633.9	63.16	4.23	0.14	0.01	67.54	10.65	0.97	565.39
鉄道		24.5	0.67	1.17	0.00	0.00	1.85	7.56	0.12	22.52
農業用地	農林漁業施設	0.3	0.06	0.00	0.07	0.00	0.13	46.77	0.00	0.15
	畑	21.2	1.67	0.97	14.06	0.01	16.70	78.82	0.97	3.52
	樹園地	1.6	0.48	0.12	0.94	0.00	1.54	94.88	0.00	0.08
	計	23.1	2.21	1.08	15.06	0.01	18.37	79.56	0.97	3.75
水面・河川		90.0	6.16	5.16	0.00	0.00	11.32	12.58	65.34	13.34
林野	原野	23.9	1.39	19.64	0.03	0.00	21.05	88.20	0.06	2.76
	森林	0.5	0.20	0.17	0.01	0.00	0.37	76.43	0.03	0.08
	計	24.4	1.58	19.81	0.03	0.00	21.42	87.97	0.09	2.84
区全体		3,217.0	436.36	158.10	18.80	9.78	623.04	19.37	167.53	2,426.48

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。
水面面積で調整を行い区全体面積は3,217haとした。

8) - 2 公共用地の緑被地の分布

- ・ 公共用地の緑被地状況を図4-13、公共用地の緑被率を図4-14に示す。
- ・ 公共用地の敷地面積は全体で290.8ha、区全体の9.0%、緑被面積は70.70ha、緑被率は24.31%、緑被面積全体の11.3%（P32 図4-12）であった。
- ・ 公共用地では学校その他の教育施設の緑被地面積が最も大きく29.51haであった。次いで宗教施設が10.32ha、処理施設が9.72haであった。
- ・ 緑被率では宗教施設の緑被率が最も高く44.05%、次いで処理施設の33.78%、供給施設24.98%で、最も低いのは官公庁施設の12.35%だった。
- ・ 官公庁施設を除いて公共用地の緑被率は20%を超えており、緑被率の高い施設が多いことが分かる。
- ・ 緑被構成では、教育施設、供給施設、処理施設において草地の占める割合が比較的高い。
- ・ 屋上緑化は教育施設で最も多く1.69haであった。

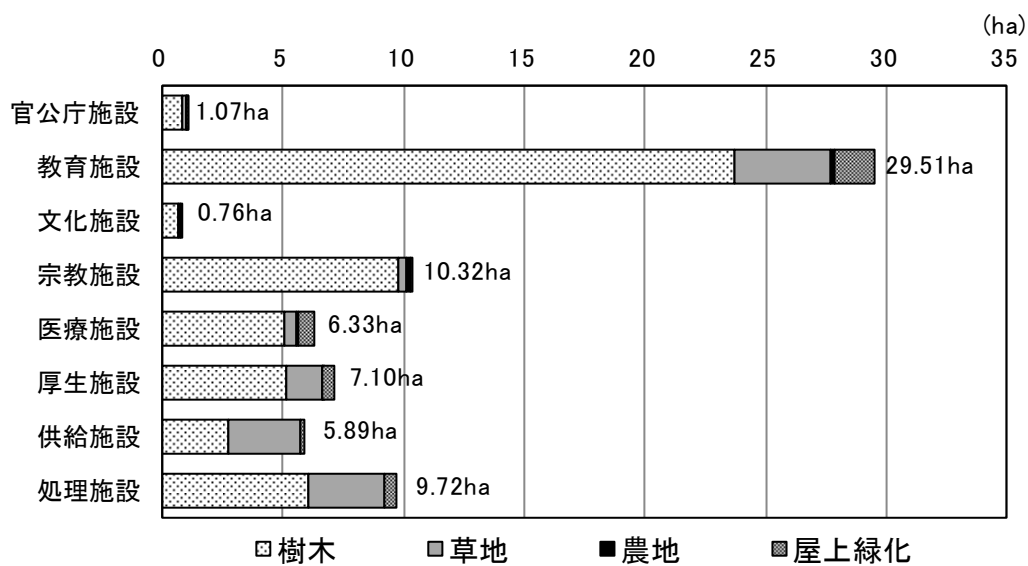


図4-13 公共用地の緑被地状況

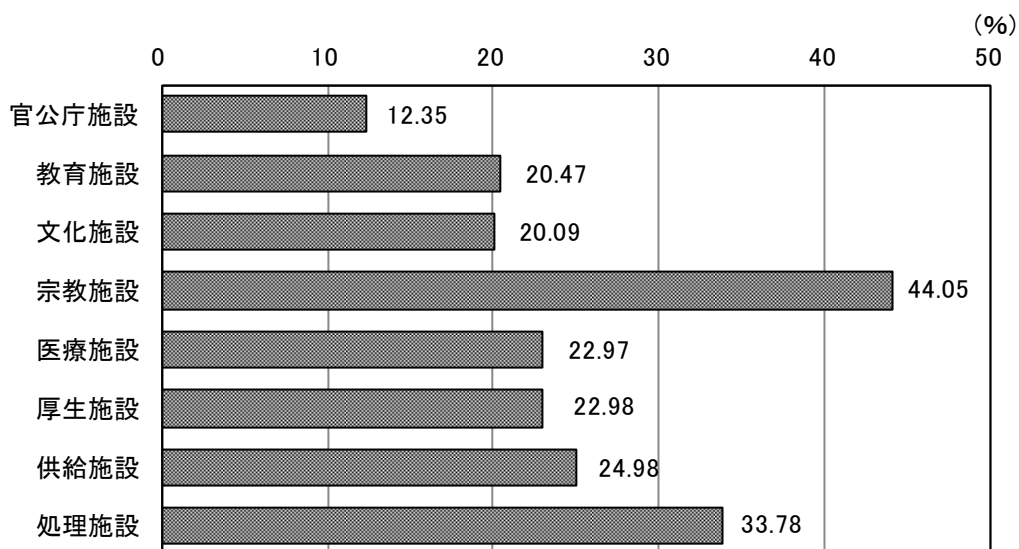


図4-14 公共用地の緑被率

※宗教施設は、東京都土地利用現況調査の分類による「寺社、教会、町内会館」

8) - 3 商業用地の緑被地の分布

- ・ 商業用地の緑被地状況を図4-15、商業用地の緑被率を図4-16に示す。
- ・ 商業用地の敷地面積は222.3ha、区全体の6.9%、緑被面積は15.48ha、緑被率は6.96%で土地利用別で最も低く、緑被面積全体の2.50%（P32 図4-12）であった。
- ・ 商業用地の中では、住商併用建物が106.1haと最も大きな面積を占めているが、緑被率は最も低く5.61%であった。
- ・ 最も緑被率が高いのは宿泊施設の19.71%、次いでスポーツ施設の16.01%、公衆浴場等の11.86%で、その他は全て10%未満であった。
- ・ 商業用地の多くが商業系用途地域に指定されている区域にあり、指定建ぺい率が80%であることから、緑化余地が少なく緑被率も低いと考えられる。

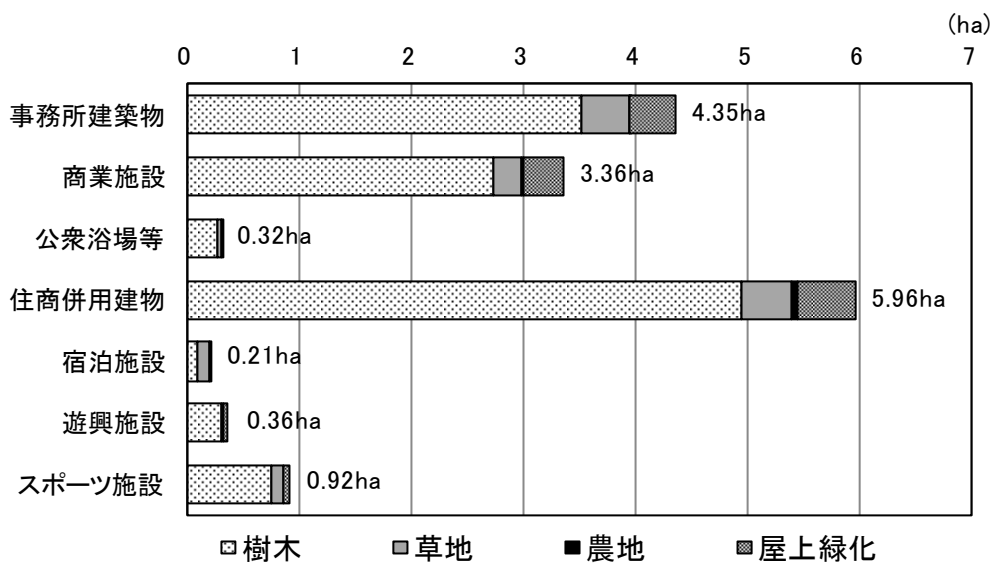


図4-15 商業用地の緑被地状況

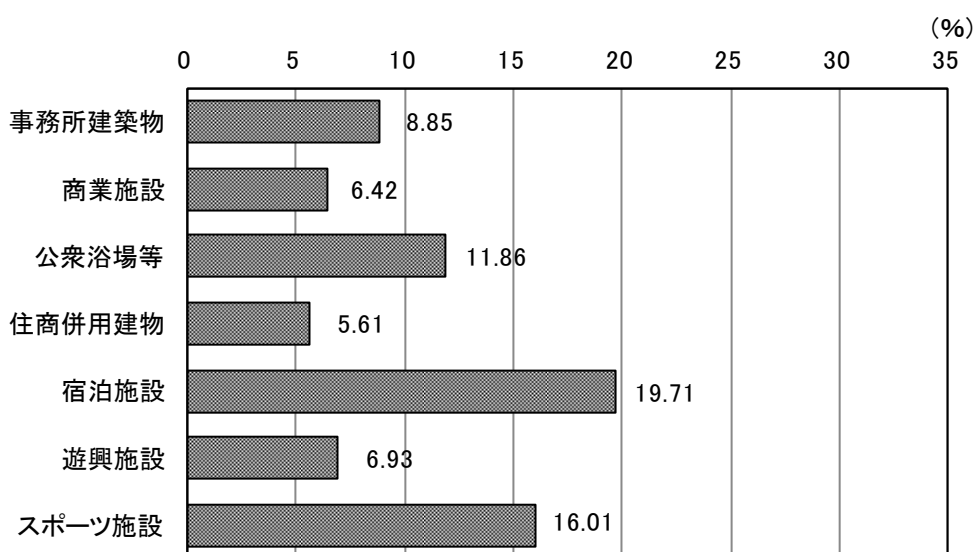


図4-16 商業用地の緑被率

8) - 4 住宅用地の緑被地の分布

- ・ 独立住宅と集合住宅の敷地面積を図4-17、住宅用地の緑被地状況を図4-18、住宅用地の緑被率を図4-19に示す。
- ・ 住宅用地の敷地面積は1,257.0haで区全体の39.1%であり、独立住宅と集合住宅の面積割合はほぼ等しく、わずかに独立住宅の面積が多い。
- ・ 緑被面積は192.80ha、緑被面積全体の30.9%（P32 図4-12）を占め、緑被率は15.34%であった。
- ・ 緑被面積、緑被率は、独立住宅が98.24ha、15.52%、集合住宅が94.56haで15.15%であった。
- ・ 独立住宅の緑被構成は、緑被地面積の約9割が樹木被覆地である。
- ・ 集合住宅の緑被構成は、緑被地面積の約8割が樹木被覆地で、独立住宅と比較すると草地面積、屋上緑化面積が多い。

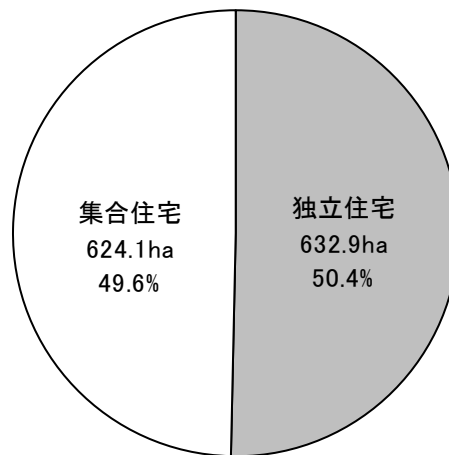


図4-17 独立住宅と集合住宅の敷地面積

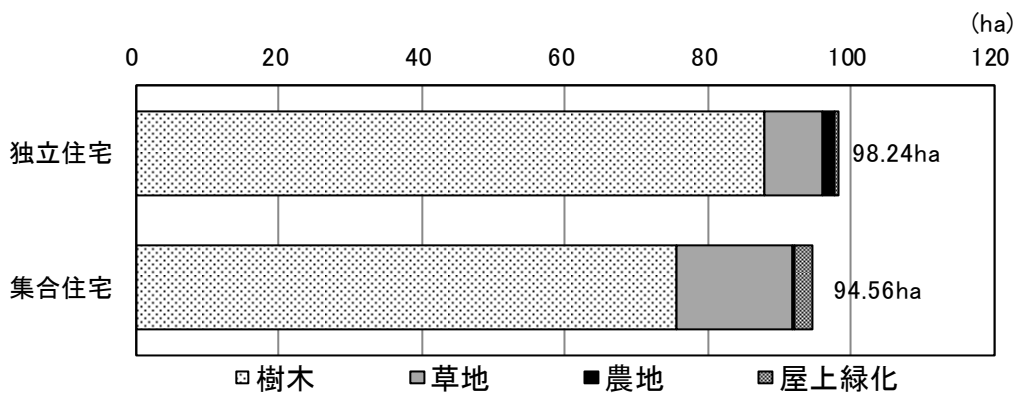


図4-18 住宅用地の緑被地状況

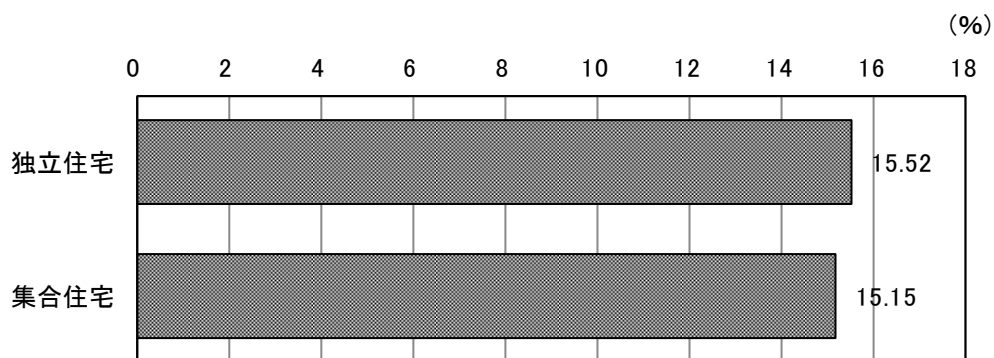


図4-19 住宅用地の緑被率

8) - 5 工業用地の緑被地の分布

- ・ 工業用地の緑被地状況を図4-20、工業用地の緑被率を図4-21に示す。
- ・ 工業用地の敷地面積は225.0haで区全体の7.0%、緑被面積は16.67ha、緑被率は7.41%、緑被面積全体の2.7%（P32 図4-12）であった。
- ・ 専用工場の緑被面積が8.46haと最も多く、緑被率は倉庫施設が8.74%と最も高く、次いで専用工場の8.13%であった。

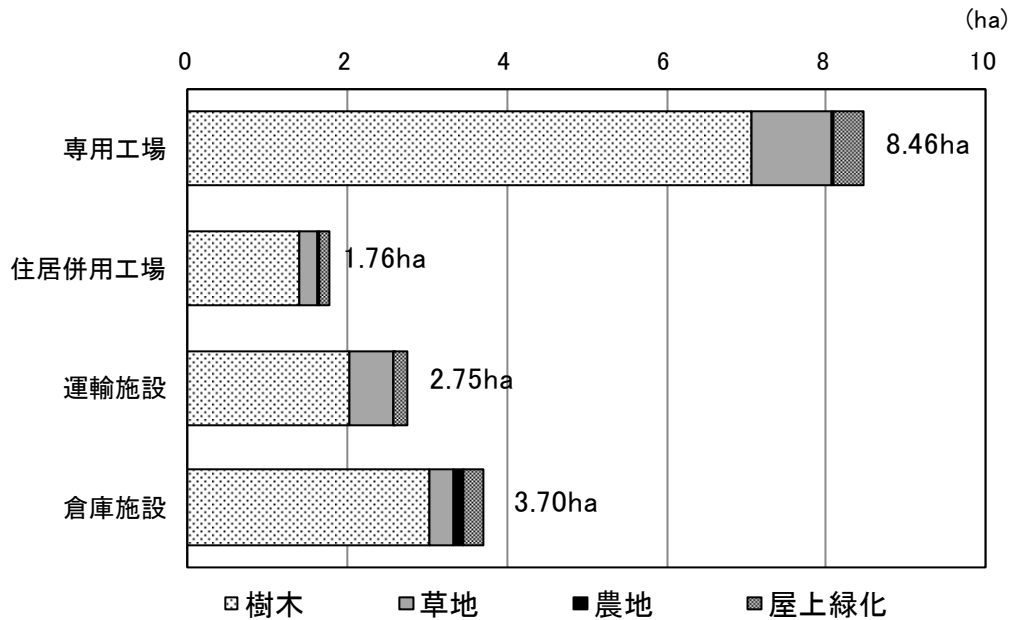


図4-20 工業用地の緑被地状況

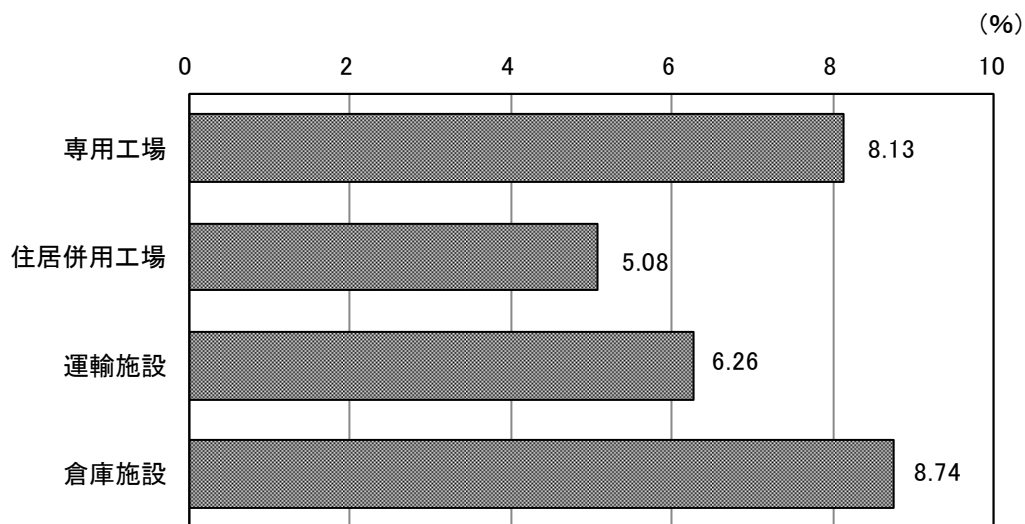


図4-21 工業用地の緑被率

8) - 6 道路・鉄道の緑被地の分布

- ・ 道路・鉄道の緑被地状況を図4-22、道路・鉄道の緑被率を図4-23に示す。
- ・ 道路の敷地面積は633.9haで区全体の19.7%、緑被面積は67.54ha、緑被率は10.65%、緑被面積全体の10.8%（P32 図4-12）であった。
- ・ 鉄道の敷地面積は24.5haで区全体の0.8%、緑被面積は1.85ha、緑被率は7.56%、緑被面積全体の0.3%（P32 図4-12）であった。
- ・ 道路の占める面積は住宅用地に次いで多く、区全体の約2割であるが、緑被率は低く、緑被面積は全体の約1割であった。

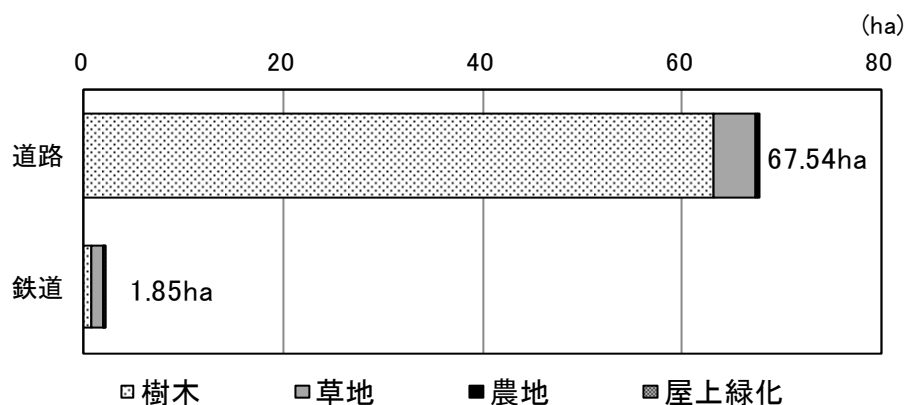


図4-22 道路・鉄道の緑被地状況

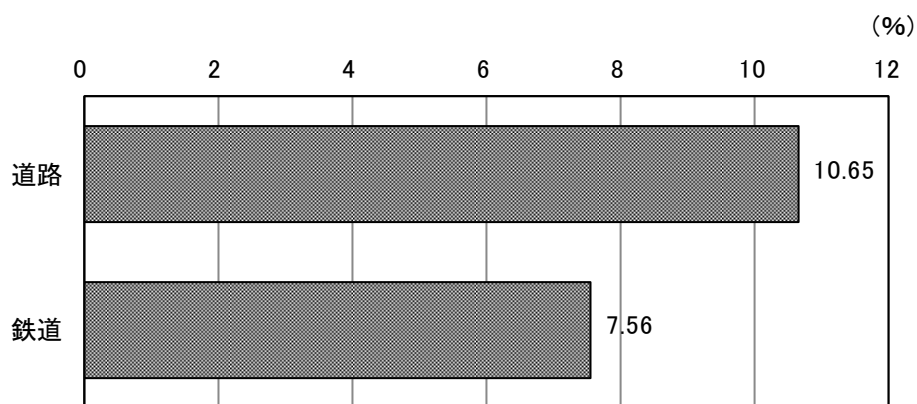


図4-23 道路・鉄道の緑被率

9) 公民別の緑被地

- ・ 公民別の緑被地状況を表4-13に示す。
- ・ 公有地面積は全体の41%、民有地面積は59%に対し、緑被地面積は公有地が55%、民有地が45%で、公有地の緑被地割合が高い。
- ・ 公有地の緑被地面積は341.68ha、緑被率25.74%、民有地の緑被地面積は281.36ha、緑被率14.89%であった。
- ・ 集合住宅では公営住宅の緑被率が34.15%であるが、民有地の集合住宅の緑被率は11.85%と低い。公営住宅は、民有地の集合住宅と比較して敷地規模が大きいものも多く、緑化余地も大きいことから緑被率が高くなっていると考えられる。
- ・ 学校では区立学校の緑被率が18.42%、都立学校が24.27%、私立学校が20.84%で、都立学校の緑被率が高い。

表4-13 公民別の緑被地状況

土地利用		敷地面積 (ha)	樹木 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
公有地	主な区有施設	20.8	3.40	0.71	0.00	0.27	4.38	21.10
	その他公共施設	115.0	19.84	8.04	0.01	1.67	29.57	25.72
	教育施設	区立学校	78.5	12.76	1.41	0.07	14.46	18.42
		都立学校	19.0	2.89	1.34	0.03	4.61	24.27
		その他	16.9	3.34	0.48	0.00	4.01	23.80
	公営住宅	110.1	26.54	10.81	0.00	0.26	37.61	34.15
	水面・河川	90.0	6.16	5.16	0.00	0.00	11.32	12.57
	道路	633.0	63.02	4.21	0.14	0.01	67.38	10.65
	鉄道等	24.5	0.67	1.17	0.00	0.00	1.85	7.56
	公園・運動場等	219.7	90.90	74.54	0.36	0.69	166.49	75.79
	計	1,327.4	229.54	107.88	0.61	3.65	341.68	25.74
民有地	社寺境内地	24.2	11.16	0.27	0.16	0.01	11.60	47.85
	商業用地	217.9	11.92	1.34	0.06	1.27	14.59	6.69
	住宅用地	独立住宅	632.6	87.82	8.03	1.72	98.08	15.50
		集合住宅	532.4	53.54	7.20	0.25	63.11	11.85
	工業用地	224.2	13.44	2.09	0.16	0.91	16.61	7.41
	空地	180.7	20.89	9.60	0.73	0.10	31.32	17.33
	農用地	23.1	2.21	1.08	15.06	0.01	18.37	79.56
	林野	24.4	1.58	19.81	0.03	0.00	21.42	87.97
	私立学校	30.1	4.26	0.80	0.00	1.21	6.27	20.84
	計	1,889.6	206.82	50.22	18.19	6.13	281.36	14.89
合計		3,217.0	436.36	158.10	18.80	9.78	623.04	19.37

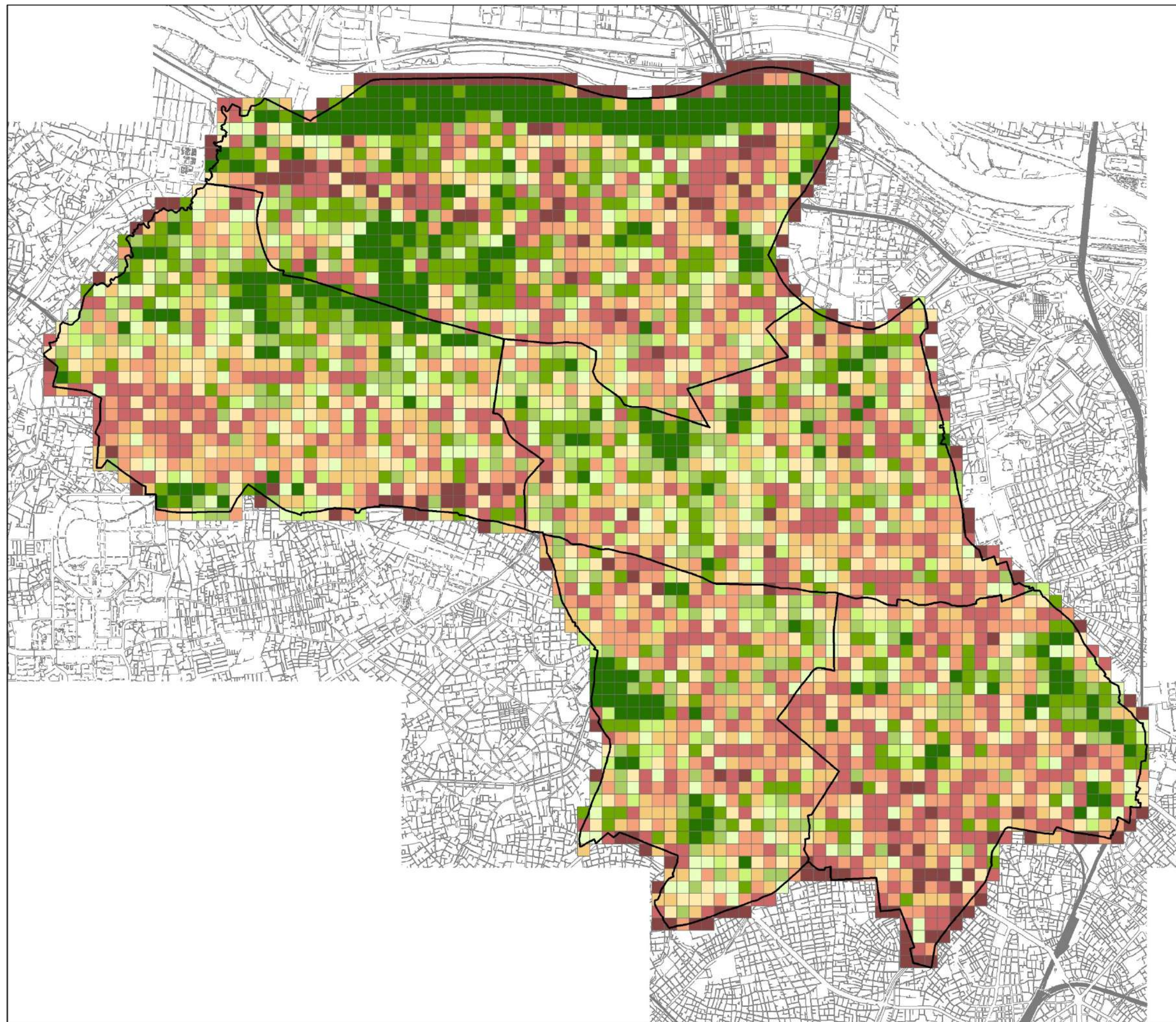
※教育施設の「その他」は、具体的な施設名称が不明なもの

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある

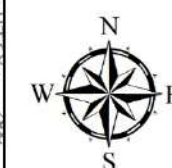
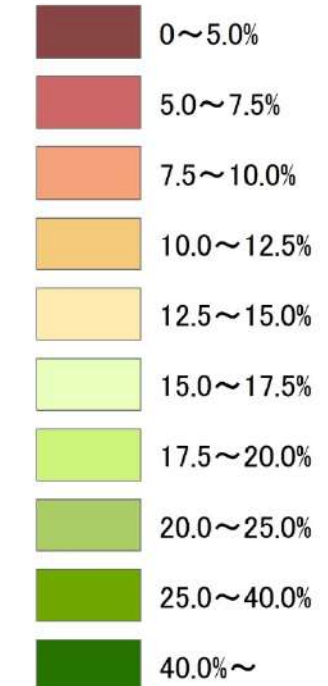
※「道路」の面積が表4-12の「道路」と異なるのは、公営住宅内の道路を公営住宅に含んだためである

10) 植生被覆率の分布

- ・ 植生被覆地データをもとにして100m×100mメッシュ毎に区分し、各メッシュ内の「植生被覆率」を算出し、「植生被覆率分布図」として図4-24に示す。
- ・ 区北端と北側から中央部において東西方向に、「植生被覆率」の高い区域が帯状に分布している。これは荒川河川敷、都立公園、大規模集合住宅にある植生被覆地になる。
- ・ 区の南側には「植生被覆率」の低い区域が広く分布している。また、区北部にも「植生被覆率」5%未満の区域が点在している。
- ・ 「植生被覆率」の低い区域は高島平駅、大山駅、上板橋駅等の駅前周辺区域、敷地規模の大きい運輸施設、卸売り市場等であった。
- ・ 住宅地においては、小規模な低層住宅が多い地域において「植生被覆率」が低い。
- ・ 「植生被覆率」が低い区域の中でも、街区公園等が存在するメッシュの数値は高い。



範囲



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基交著第5号

図 4-24 植生被覆率分布図 (100m×100m)

1 1) みどり率の分布

1 1) - 1 みどり率の状況分析（区全域）

- ・ みどり率の状況を表 4-14、みどり率対象面分布図を図 4-26 に示す。
- ・ 区全域のみどり率は 23.35% であった。

表 4-14 みどり率の状況

区全体 面積 (ha)	みどり面積 (ha)	公園以外の 緑被地 (ha)	公園以外の 水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)
3,217.0	751.20	483.97	65.91	201.32	23.35

※小数第 3 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

【みどり率調査について】

- ・ 緑被率とみどり率の関係を図 4-25 に示す。
- ・ みどり率^{※7)}は、東京都が「緑の東京計画」（2000 年）において指標化したもので、緑被率に「河川等の水面の占める割合」と「公園内の緑で被われていない面積の割合」を加えたものである。
- ・ みどり率を算出するために、区が管理する公園データを緑被分布図に重ね合わせて、樹木被覆地、草地、屋上緑化、農地、公園面積および水面面積を集計した。

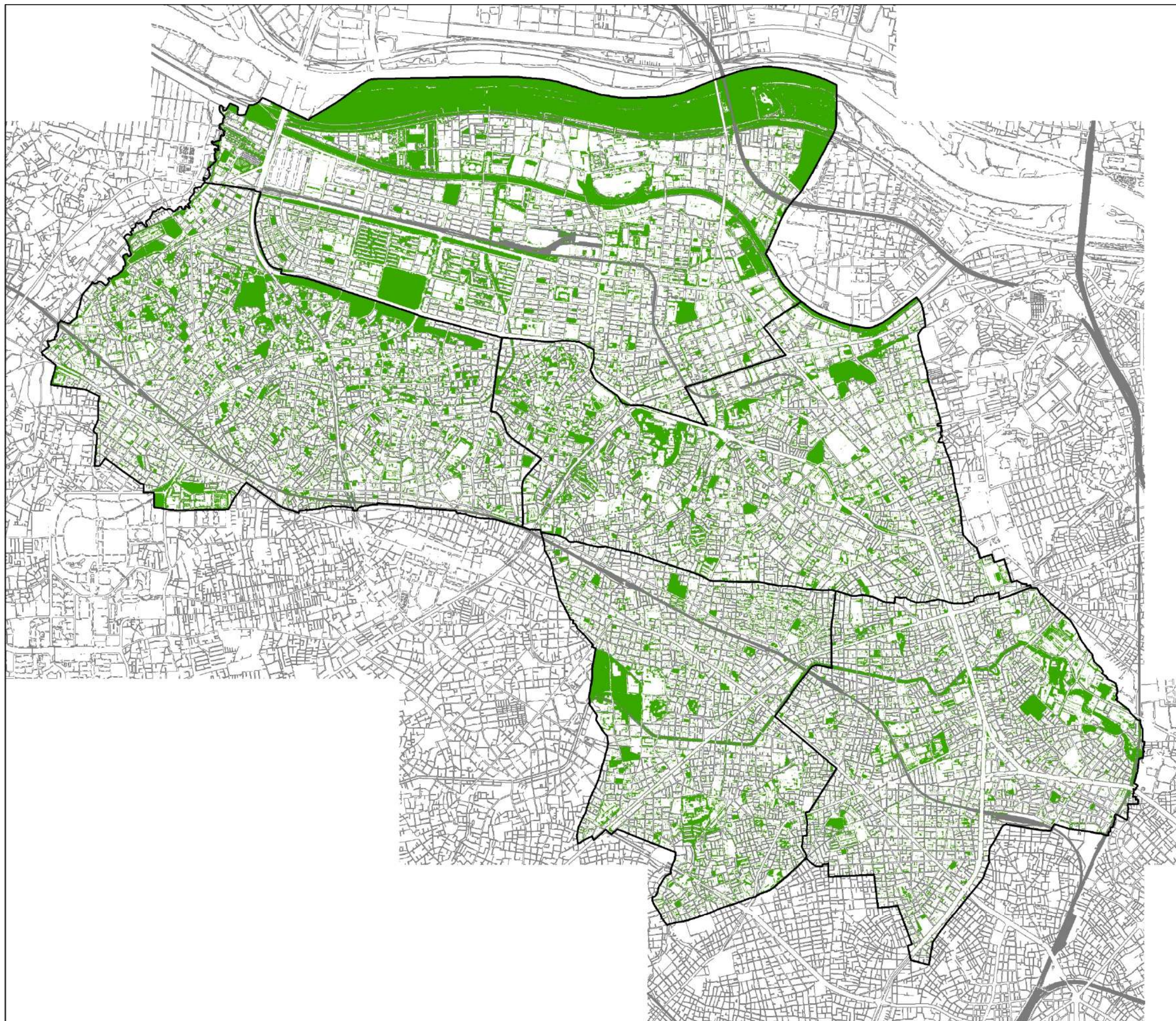
緑 被 率	↑	樹林地が占める割合	み ど り 率	↑
		草地が占める割合		
		農地が占める割合		
		宅地等の緑が占める割合		
		道路の緑が占める割合		
		公園が占める割合 (公園内の緑で覆われている面積の割合)		
		(公園内の緑で覆われていない面積の割合)		
	↓	河川等の水面が占める割合		↓

出典:「緑の東京計画」(平成 12 年 12 月、東京都)

図4-25 緑被率とみどり率の関係

$$\text{※7) みどり率}(\%) = \frac{(\text{公園の全区域} + \text{緑被地}^{\text{※}} + \text{水面}^{\text{※}}) \text{の面積}}{\text{地区の面積}} \times 100$$

※) 公園区域に含まれないもの



凡例

みどり率対象面



0 500 1,000 2,000 m

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基交著第5号

図 4-26 みどり率対象面分布図

1 1) - 2 みどり率の状況分析（5地域別）

- ・ 5地域別のみどり率の状況を表 4-15 に示す。
- ・ みどり率が最も高いのは高島平地域で 34.60%であった。次いで赤塚地域 21.89%、志村地域 19.66%、常盤台地域 18.35%、板橋地域 15.69%であった。
- ・ 高島平地域は他地域と比較して公園以外の水面と公園面積が大きく、みどり率も最も高くなっている。

表 4-15 5 地域別みどり率の状況

地域	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	公園以外の 緑被地 (ha)	公園以外の 水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)	順位
板橋	525.0	82.37	65.78	2.34	14.26	15.69	5
常盤台	467.1	85.74	61.62	2.90	21.21	18.35	4
志村	672.3	132.20	100.90	5.41	25.89	19.66	3
赤塚	679.3	148.68	111.15	2.67	34.86	21.89	2
高島平	873.3	302.20	144.51	52.59	105.10	34.60	1
区全域	3217.0	751.20	483.97	65.91	201.32	23.35	—

1 1) - 3 みどり率の状況分析（32地区別）

- ・ 地区別のみどり率の順位を表 4-16、地区別みどり率の状況を表 4-17、地区別のみどり率区分図を図 4-27 に示す。
- ・ みどり率が最も高いのは新河岸地区で 57.02%であった。次いで舟渡地区が 50.66%、四葉地区が 35.57%、加賀地区が 35.19%、東坂下地区が 32.16%であった。
- ・ みどり率は水面面積が対象となるため、荒川が位置する新河岸地区と舟渡地区のみどり率は 50%を超えている。

表 4-16 地区別みどり率の順位

順位	地区	みどり率(%)
1	新河岸	57.02
2	舟渡	50.66
3	四葉	35.57
4	加賀	35.19
5	東坂下	32.16
	区平均	23.35

表 4-17 地区別みどり率の状況

地区名	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	公園以外の 緑被地 (ha)	公園以外の 水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)	順位
板橋	100.5	13.61	9.05	0.12	4.44	13.55	29
加賀	48.7	17.14	13.75	0.73	2.66	35.19	4
仲宿	57.6	9.62	6.03	0.48	3.11	16.69	21
幸町	75.6	7.95	7.13	0.00	0.82	10.52	32
大山	79.1	8.70	7.54	0.00	1.16	11.00	31
中板橋	100.3	14.03	12.71	0.00	1.33	13.99	28
富士見町	63.2	11.32	9.57	1.01	0.74	17.91	17
常盤台	106.1	16.83	13.13	0.78	2.92	15.87	26
向原	43.2	7.14	6.58	0.00	0.56	16.53	23
大谷口	82.7	11.68	10.41	0.00	1.26	14.12	27
小茂根	90.9	17.01	15.02	0.00	1.99	18.72	16
東新町	67.2	11.10	8.82	1.59	0.69	16.51	24
上板橋	77.0	21.98	7.67	0.52	13.79	28.54	6
蓮沼町	113.7	14.20	12.24	0.00	1.96	12.49	30
小豆沢	87.4	20.75	11.34	1.80	7.61	23.75	8
志村	71.9	11.49	9.98	0.00	1.51	15.98	25
前野町	143.6	24.75	19.70	0.00	5.05	17.24	20
中台	71.6	17.78	15.27	0.01	2.50	24.83	7
若木	53.2	9.36	7.11	0.00	2.25	17.59	18
東坂下	45.8	14.73	8.84	3.60	2.29	32.16	5
西台	85.1	19.15	16.43	0.00	2.72	22.50	10
徳丸	187.0	36.87	26.91	0.00	9.96	19.71	15
四葉	48.3	17.18	8.74	0.00	8.44	35.57	3
赤塚	195.4	42.03	33.68	0.01	8.34	21.51	12
赤塚新町	48.9	10.39	8.17	0.00	2.21	21.25	13
成増	142.0	29.49	23.99	0.49	5.00	20.77	14
三園	57.7	12.73	9.66	2.16	0.91	22.07	11
坂下	96.7	16.03	9.98	0.92	5.13	16.57	22
蓮根	93.8	16.43	13.17	1.17	2.08	17.52	19
舟渡	208.1	105.42	41.67	26.06	37.69	50.66	2
高島平	313.0	72.12	43.80	4.56	23.75	23.04	9
新河岸	161.7	92.21	35.88	19.88	36.44	57.02	1
区全域	3,217.0	751.20	483.97	65.91	201.32	23.35	—

※小数第 3 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

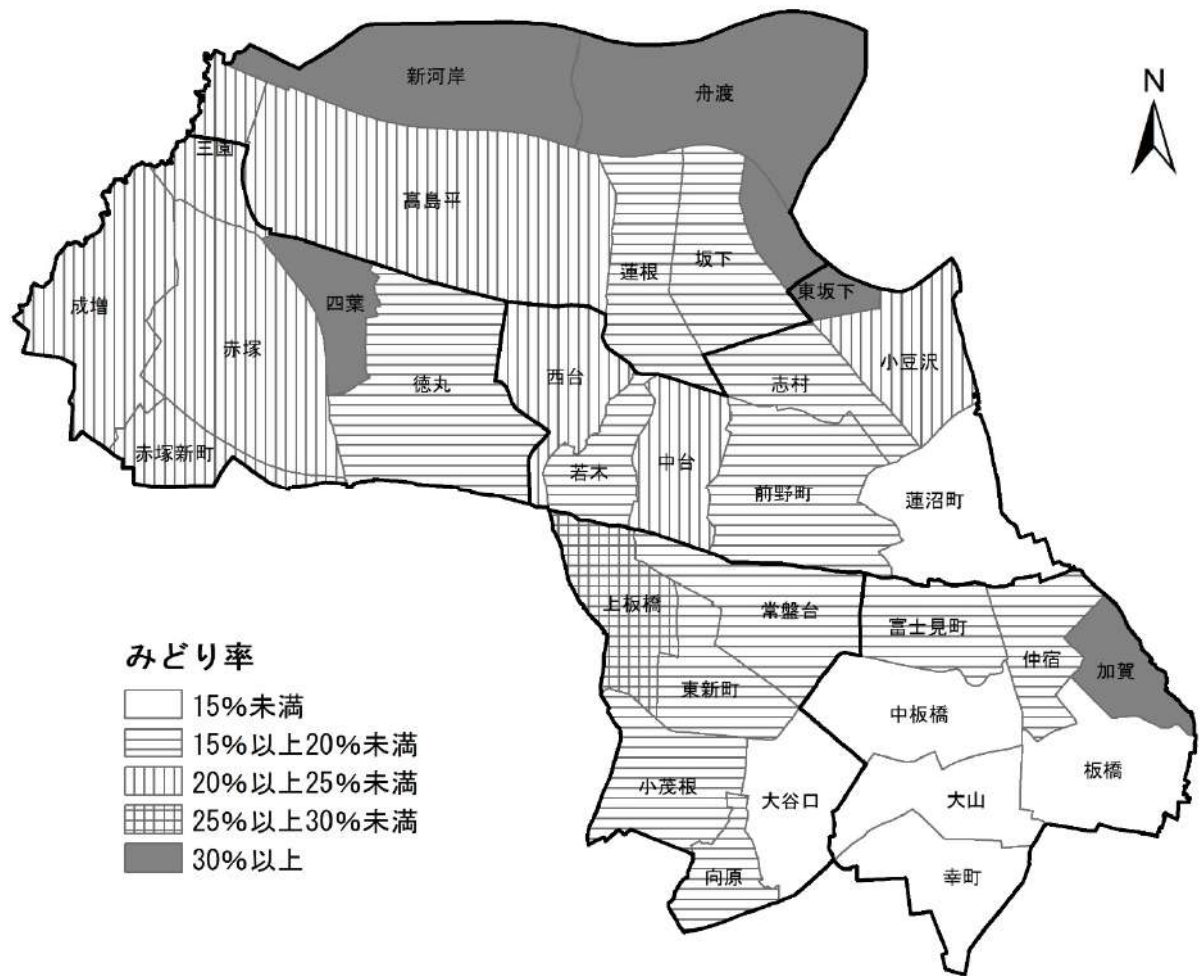


図4-27 地区別みどり率区分図

4－2 過去の調査結果との比較

1) 植生被覆率の推移

1)－1 過去の調査結果との比較（区全域）

- ・ 植生被覆地の推移を表4-18、植生被覆率の推移を図4-28に示す。
- ・ 「植生被覆地」は平成26年度調査では588.03haであったが、令和元年度調査では581.40haとなり、6.62haの減少であった。
- ・ 「植生被覆率」では18.28%から18.07%となり、0.21ポイントの減少であった。
- ・ 減少の主な要因は、建築に伴う植生被覆地の減少によるもので、未利用地、樹林地での建築計画では、まとまった植生被覆地が消失している。

表4-18 植生被覆地の推移

区分	平成21年	平成26年	令和元年	H26-R01推移
植生被覆面積(ha)	620.32	588.03	581.40	▲ 6.62
植生被覆率(%)	19.28	18.28	18.07	▲ 0.21

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

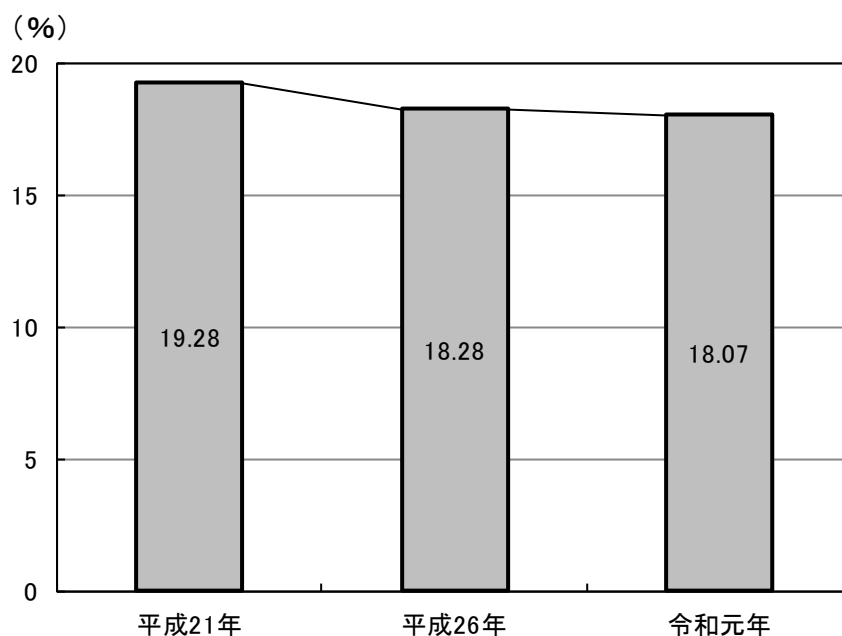


図4-28 植生被覆率の推移

1) - 2 平成26年度調査との比較（5地域別）

- ・ 地域別の植生被覆率の増減を表4-19、地域別の植生被覆地の推移を表4-20に示す。
- ・ 地域別の植生被覆率の推移では、板橋地域は1.84ポイント、志村地域は0.21ポイントの増加であったが、常盤台地域、高島平地域、赤塚地域は減少した。
- ・ 植生被覆率が増加した板橋地域と志村地域は、緑被率では減少であった。その理由としては、平成26年度調査の植生被覆地の抽出では、高架や建築物等の影内の植生被覆地が抽出されなかったものが多く、板橋地域と志村地域では、本調査での植生被覆地面積が平成26年度調査面積よりも大きくなったことによる。
- ・ 高島平地域の植生被覆地面積の減少が大きい要因は、荒川河川敷の草地等の状況によるものである。

表 4-19 地域別の植生被覆率の増減

順位	地域	植生被覆率増減 (ポイント差)
1	板橋	1.84
2	志村	0.21
3	常盤台	▲ 0.28
4	高島平	▲ 0.99
5	赤塚	▲ 1.10
	区平均	▲ 0.21

表4-20 地域別の植生被覆地の推移

地域	面積	平成26年		令和元年		増減	
	(ha)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差
板橋	525.00	60.38	11.50	70.05	13.34	9.67	1.84
常盤台	467.10	75.01	16.06	73.70	15.78	▲ 1.31	▲ 0.28
志村	644.60	100.78	15.63	102.12	15.84	1.34	0.21
赤塚	655.00	126.84	19.36	119.65	18.27	▲ 7.19	▲ 1.10
高島平	925.30	225.02	24.32	215.87	23.33	▲ 9.15	▲ 0.99
区全域	3217.00	588.03	18.28	581.40	18.07	▲ 6.62	▲ 0.21

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1) - 3 平成26年度調査との比較（32地区別）

- ・ 地区別の植生被覆地の推移を表4-21に示す。
- ・ 13地区では「植生被覆地」が増加であった。

表4-21 地区別の植生被覆地の推移

地区名	面積	平成26年		令和元年		増減		
	(ha)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差	順位
板橋	100.5	10.39	10.34	11.23	11.17	0.83	0.83	12
加賀	48.7	14.51	29.79	15.63	32.09	1.12	2.30	2
仲宿	57.6	5.31	9.21	6.26	10.87	0.95	1.66	7
幸町	75.6	5.50	7.28	6.86	9.07	1.36	1.80	6
大山	79.1	6.08	7.69	7.38	9.33	1.29	1.64	8
中板橋	100.3	10.34	10.31	13.05	13.01	2.71	2.70	1
富士見町	63.2	8.24	13.03	9.65	15.27	1.41	2.23	3
常盤台	106.1	15.18	14.31	14.23	13.41	▲ 0.96	▲ 0.90	21
向原	43.2	6.88	15.92	6.40	14.81	▲ 0.48	▲ 1.12	22
大谷口	82.7	9.04	10.93	10.78	13.04	1.74	2.11	4
小茂根	90.9	16.79	18.47	16.51	18.16	▲ 0.28	▲ 0.30	16
東新町	67.2	9.33	13.88	9.25	13.77	▲ 0.08	▲ 0.11	14
上板橋	77.0	17.79	23.11	16.54	21.48	▲ 1.26	▲ 1.63	28
蓮沼町	113.7	10.65	9.37	11.90	10.47	1.25	1.10	10
小豆沢	87.4	12.75	14.59	14.38	16.45	1.63	1.86	5
志村	71.9	9.93	13.81	10.69	14.87	0.77	1.06	11
前野町	143.6	19.77	13.77	21.37	14.88	1.59	1.11	9
中台	71.6	17.64	24.63	17.24	24.07	▲ 0.40	▲ 0.56	18
若木	53.2	9.53	17.92	8.14	15.30	▲ 1.39	▲ 2.61	31
東坂下	45.8	10.02	21.89	9.31	20.32	▲ 0.72	▲ 1.56	27
西台	85.1	18.78	22.06	16.45	19.33	▲ 2.32	▲ 2.73	32
徳丸	187.0	33.29	17.80	30.03	16.06	▲ 3.26	▲ 1.74	29
四葉	48.3	15.78	32.67	15.48	32.05	▲ 0.30	▲ 0.62	20
赤塚	195.4	38.25	19.57	35.76	18.30	▲ 2.48	▲ 1.27	25
赤塚新町	48.9	9.97	20.38	9.32	19.07	▲ 0.64	▲ 1.31	26
成増	142.0	24.21	17.05	24.37	17.16	0.16	0.11	13
三園	57.7	10.18	17.64	8.97	15.54	▲ 1.21	▲ 2.10	30
坂下	96.7	11.52	11.91	11.40	11.79	▲ 0.12	▲ 0.13	15
蓮根	93.8	13.41	14.30	13.04	13.91	▲ 0.37	▲ 0.39	17
舟渡	208.1	65.24	31.35	62.79	30.17	▲ 2.44	▲ 1.17	23
高島平	313.0	60.82	19.43	57.10	18.24	▲ 3.72	▲ 1.19	24
新河岸	161.7	60.91	37.67	59.90	37.05	▲ 1.00	▲ 0.62	19
合計	3,217.0	588.03	18.28	581.40	18.07	▲ 6.62	▲ 0.21	—

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1) - 4 平成26年度調査との比較（町丁目別）

- ・ 植生被覆率の変化区分による町丁目数を表4-22、町丁目別の植生被覆率の変化状況を図4-29に示す。
- ・ 「植生被覆率」が1ポイント以上増加した町丁目が43町丁目、1ポイント未満の増加が24町丁目、1ポイント未満の減少が23町丁目、1ポイント以上3ポイント未満の減少が31町丁目、3ポイント以上の減少が13町丁目であった。

表 4-22 植生被覆率の変化区分による町丁目数

植生被覆率の変化	町丁目数	割合(%)
3ポイント以上の減少	13	9.7
1ポイント以上3ポイント未満の減少	31	23.1
1ポイント未満の減少	23	17.2
1ポイント未満の増加	24	17.9
1ポイント以上の増加	43	32.1
合計	134	—

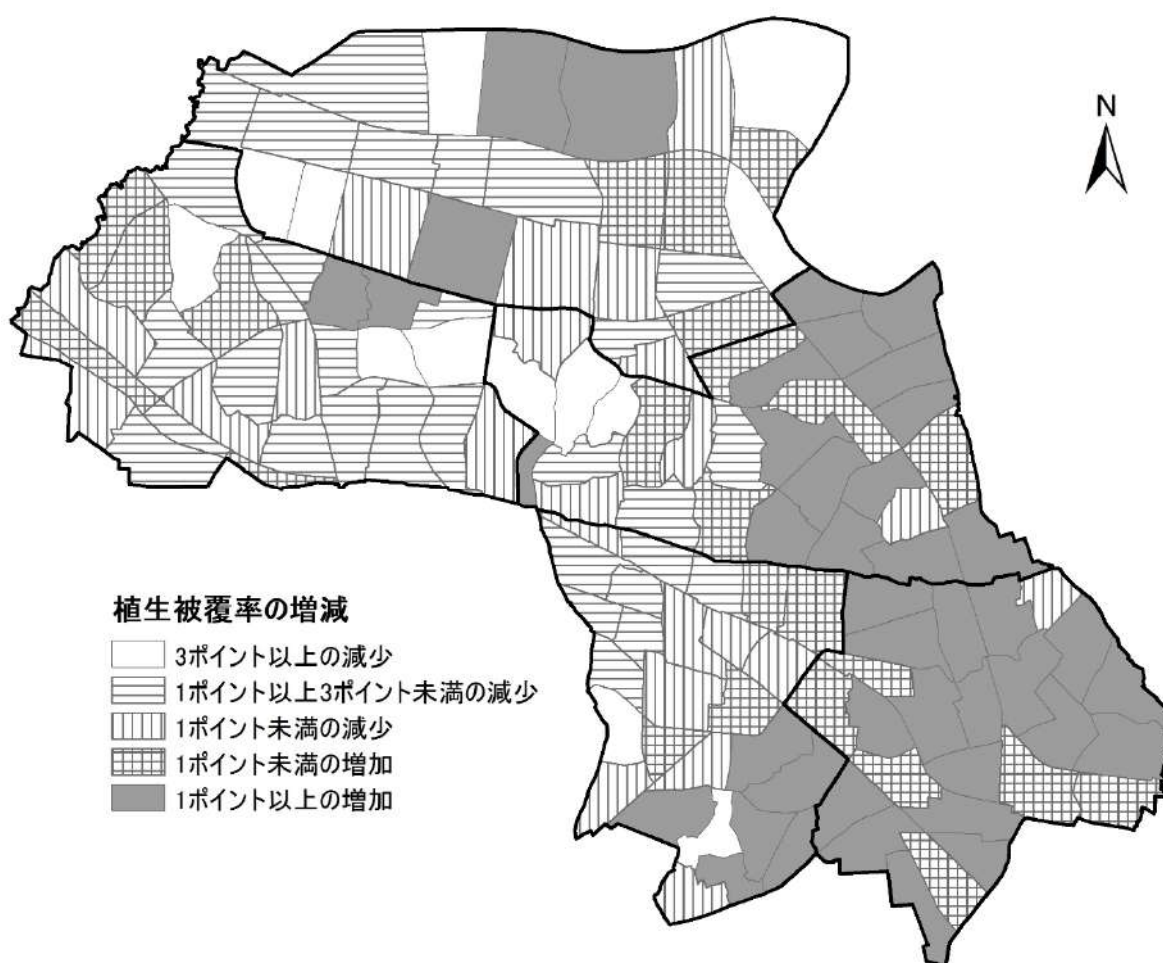


図4-29 町丁目別の植生被覆率の変化状況

2) 緑被率の推移

2) - 1 区全域での推移

- ・ 緑被面積300㎡以上における昭和49年から令和元年までの比較を図4-30、緑被面積100㎡以上における平成元年から令和元年までの比較を図4-31に示す。
- ・ 300㎡以上の緑被地の変化では、平成16年度調査まで減少傾向であったが、平成21年度調査で増加し、平成26年度調査からは減少している。
- ・ 100㎡以上の緑被地の変化では、平成21年度、平成26年度調査は増加したが、本調査では減少に転じた。

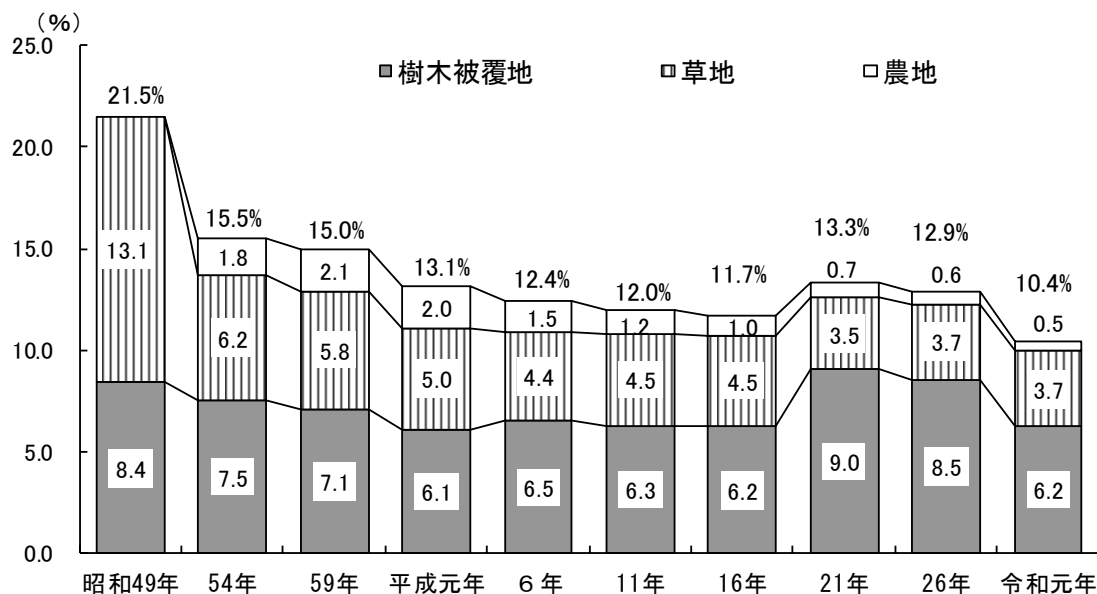


図4-30 区全域の緑被率の推移（300㎡以上の緑被地を対象）

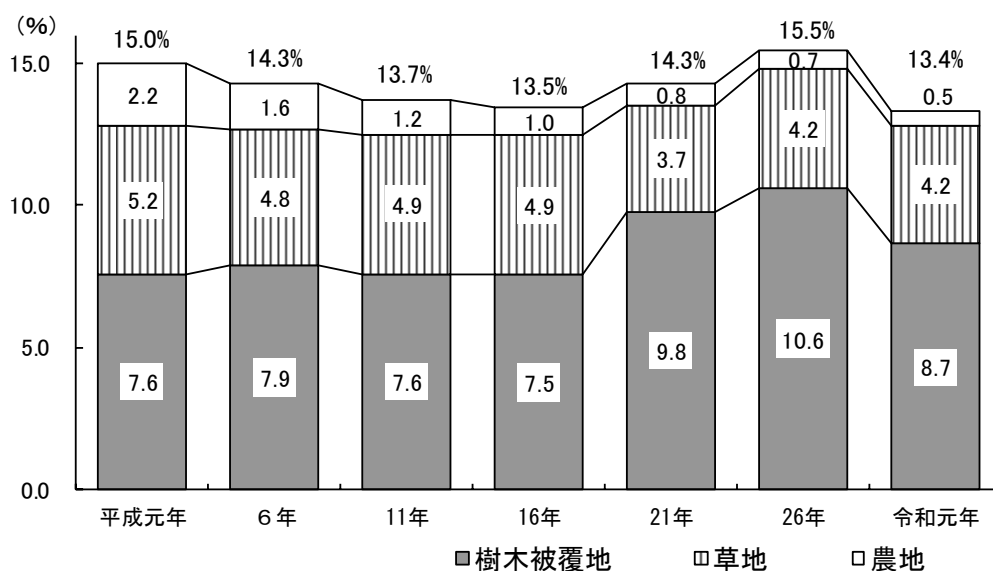


図4-31 区全域の緑被率の推移（100㎡以上の緑被地を対象）

※図 4-30、4-31 とも小数第 2 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。
 ※図 4-30、4-31 とも屋上緑化は樹木被覆地に計上

2) - 2 平成26年度調査との比較（区全域）

- ・ 平成26年度調査と令和元年度調査の緑被地の変化（1㎡以上の緑被地を対象）を表4-23、緑被地の推移状況（1㎡以上の緑被地を対象）を図4-32に示す。
- ・ 平成26年度調査と令和元年度調査の推移では、「緑被地」面積は28.67ha減少し、「緑被率」は0.89ポイント下降した。
- ・ 「樹木被覆地」は21.02ha、0.65ポイント減少、「草地」が2.86ha、0.09ポイントの減少、「農地」が3.27ha、0.10ポイントの減少、「屋上緑化」が1.53ha、0.05ポイントの減少で、減少した「緑被地」の多くが「樹木被覆地」であった。
- ・ 「樹木被覆地」の変化では、平成26年度調査では「人工面」「草地」「農地」「裸地」が「樹木被覆地」に変化していた面積が、106.45haであった。
- ・ 平成26年度調査の「樹木被覆地」が「人工面」「草地」「裸地」に変化した面積は127.44haであった。特に「人工面」に変化した面積が100.29haと大きい。
- ・ 樹木の生長や新たな緑地整備による樹木被覆地増加箇所はあるが、剪定による樹冠面積の縮小、建築物の新築や建替えに伴う樹木や樹林の消失によって、増加面積より減少面積が大きいことから、樹木被覆地は減少となった。
- ・ 樹木被覆地面積の減少の主な要因は、建築物の新築や建替え、公園や緑地の再整備によるものである。また、屋敷林が集合住宅や戸建住宅に変わった箇所が区内の各所で確認されている。
- ・ 樹木被覆地の増加の主な要因は、平成26年度調査時は工事中であったが、令和元年度調査は道路や建築物が完成し、街路樹、施設緑地が整備されたことによる。
- ・ 「草地」の減少面積が大きい箇所は荒川河川敷で、草地が灌木化したことによる。その他の減少要因としては未利用地草地が土地利用されたことによる減少であった。
- ・ 「農地」の減少の主な要因は、農地の住宅開発によるものであった。農地が戸建住宅に変化した箇所は、敷地全てが「人工面」に変化している。

表4-23 緑被地の変化（1㎡以上の緑被地を対象）

項目	平成26年		令和元年		推移	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)
樹木被覆地	457.38	14.22	436.36	13.56	▲ 21.02	▲ 0.65
草地	160.96	5.00	158.10	4.91	▲ 2.86	▲ 0.09
農地	22.07	0.69	18.80	0.58	▲ 3.27	▲ 0.10
屋上緑化	11.31	0.35	9.78	0.30	▲ 1.53	▲ 0.05
緑被地計	651.71	20.26	623.04	19.37	▲ 28.67	▲ 0.89

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

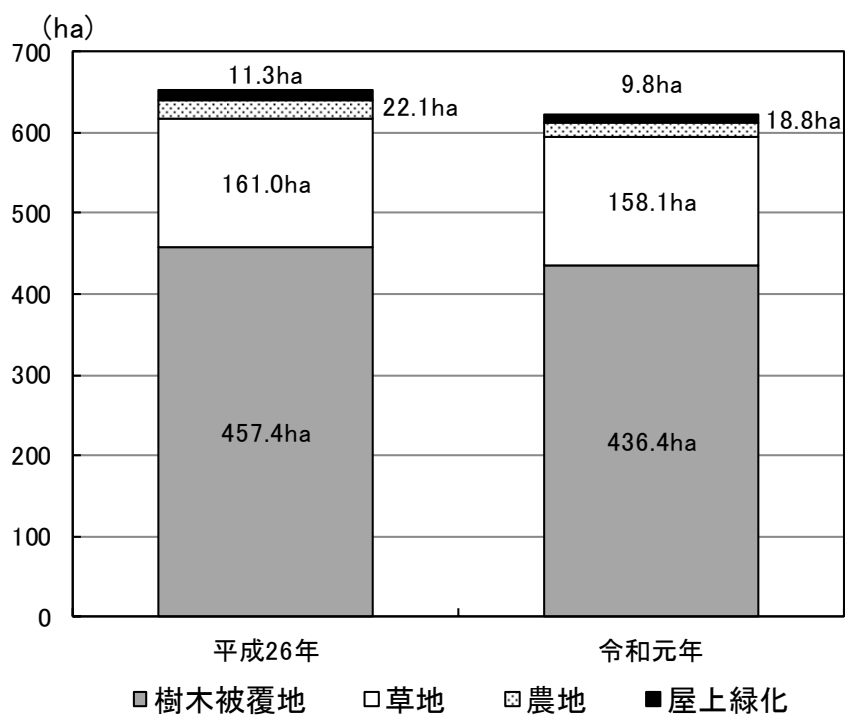


図4-32 緑被地の推移状況（1㎡以上の緑被地を対象）

【代表的な樹木被覆地減少の例】屋敷林の減少（左：平成26年 右：令和元年）

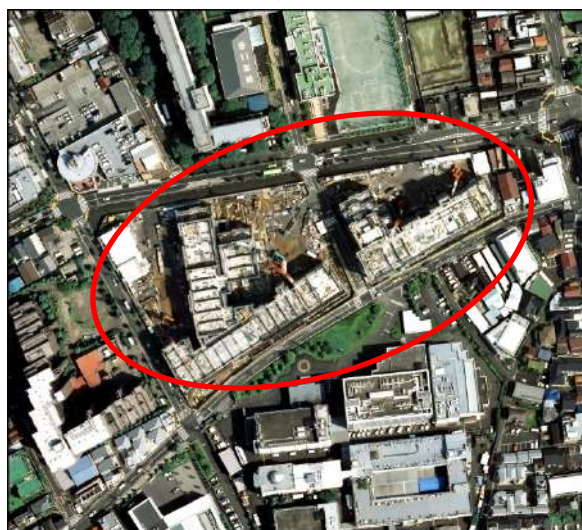


0 15 30 m



0 15 30 m

【代表的な樹木被覆地増加の例】建築による緑化（左：平成 26 年 右：令和元年）



0 50 100 m

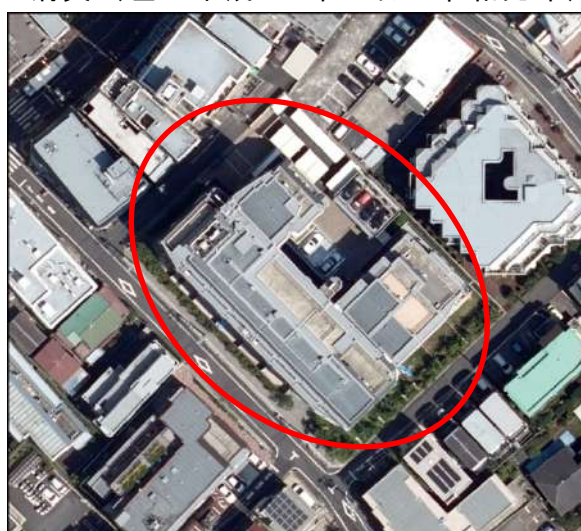


0 50 100 m

【代表的な草地減少の例】未利用地草地の消失（左：平成 26 年 右：令和元年）

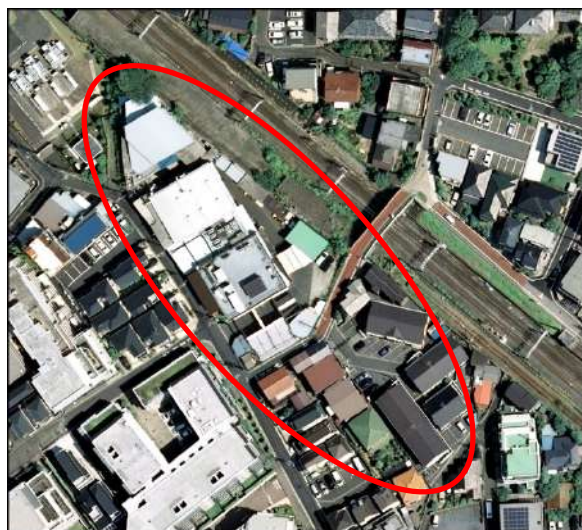


0 15 30 m



0 15 30 m

【代表的な草地増加の例】建築物の消失に伴う更地の草地化（左：平成 26 年 右：令和元年）

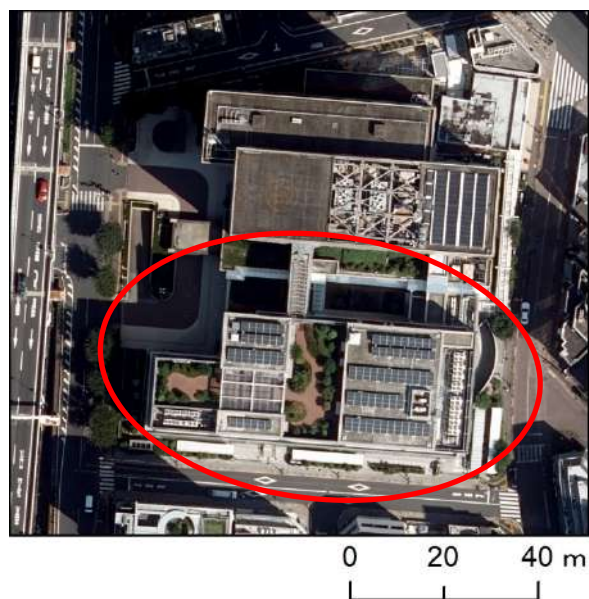
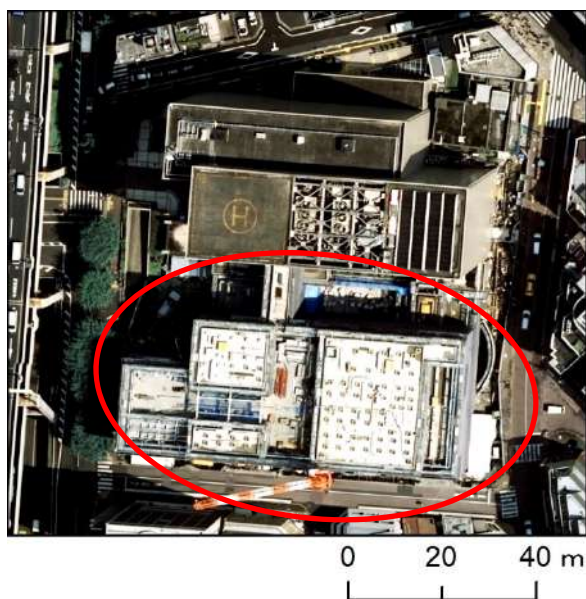


0 25 50 m

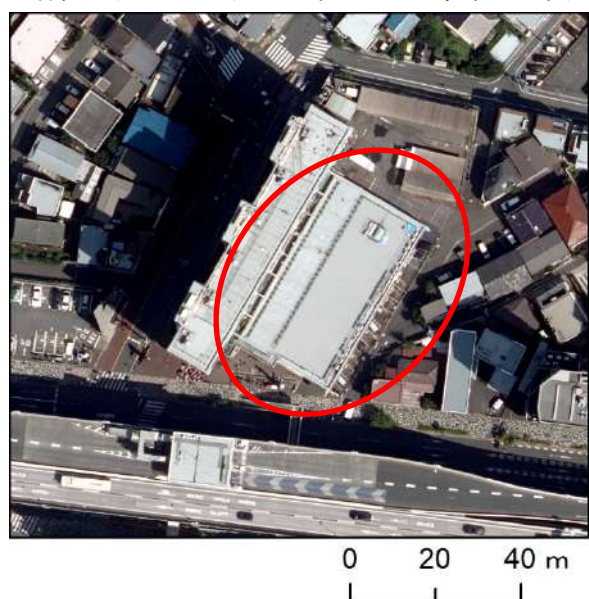
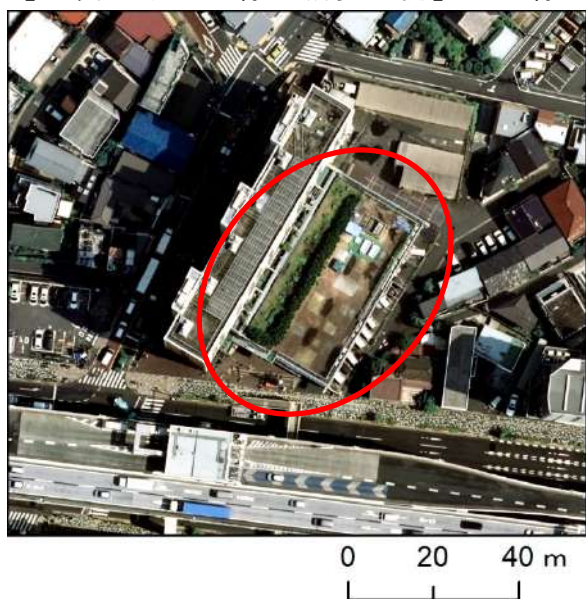


0 25 50 m

【代表的な屋上緑化増加の例】 建築による屋上緑化整備
（左：平成 26 年 右：令和元年）



【代表的な屋上緑化減少の例】 屋上緑化の消失（左：平成 26 年 右：令和元年）



2) - 3 緑被地の長期的な変遷（区全域）

- ・ 緑被地の変遷を図4-33に示す。
- ・ 明治時代は「農地」が、区のほとんどの「緑被地」を占めていたが、宅地化、工業化等の開発の進行に伴って減少していった。
- ・ 現在「農地」は赤塚地域を中心にわずかに残っている状態である。
- ・ 「樹林地」は荒川低地と武蔵野台地との境界の崖線に、斜面林として連続して存在していたが、住宅地等の開発によって減少し、現在は公園緑地を中心に一部が残っている状態である。

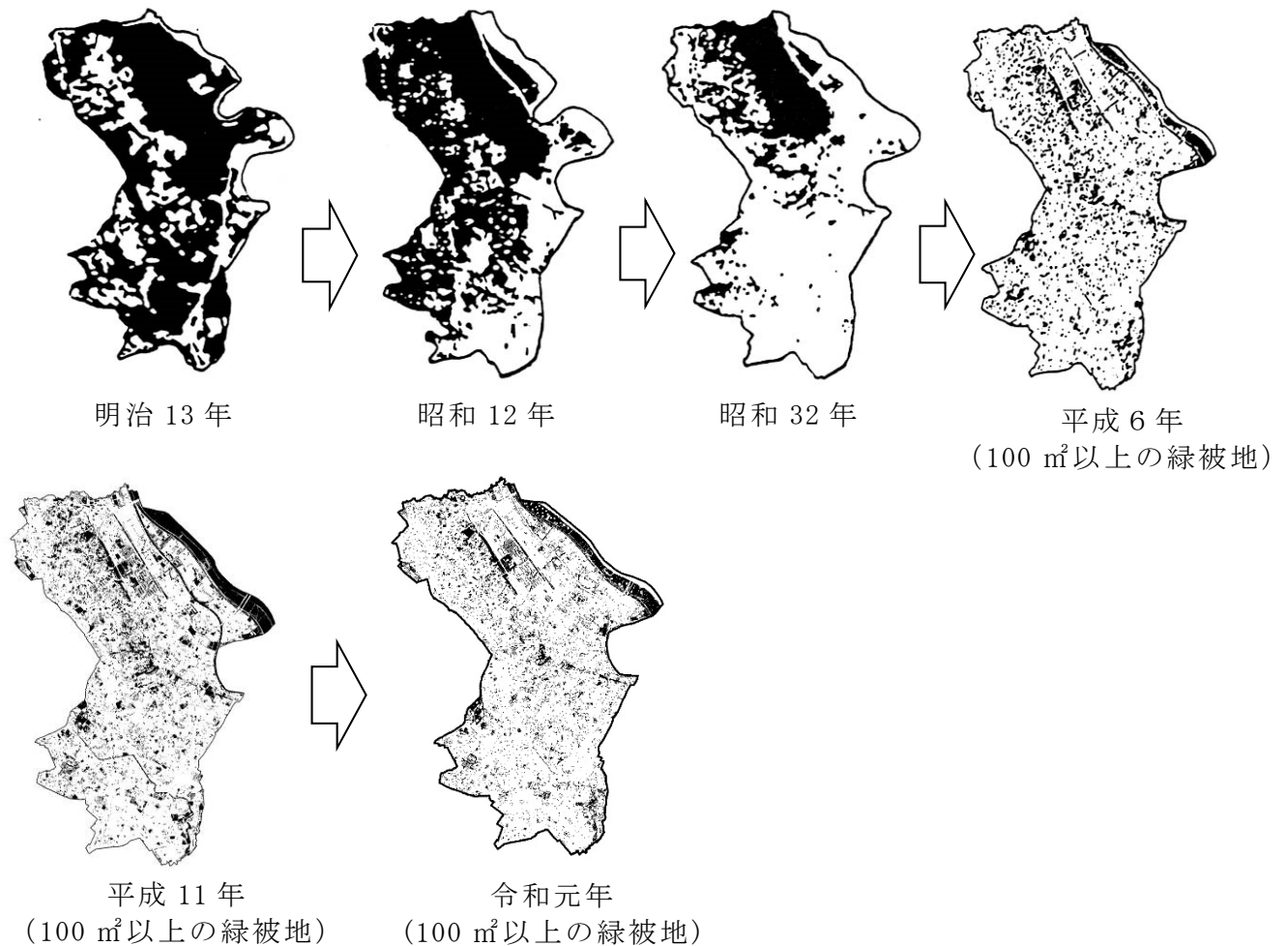


図4-33 緑被地の変遷

2) - 4 平成26年度調査との比較（5地域別）

- ・ 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）を表4-24、表4-25に示す。
- ・ 「緑被率」の減少が最も大きい地域は赤塚地域（1.30ポイント）、次いで常盤台地域（1.15ポイント）、志村地域（0.91ポイント）であった。
- ・ 「緑被率」の減少が最も小さい地域は板橋地域（0.37ポイント）であった。
- ・ 「緑被率」の最も低い板橋地域が「緑被率」の減少量が最も小さく、赤塚地域が「緑被率」の減少量が最も大きい。
- ・ 赤塚地域は屋敷林や農地等の消失の可能性の高い緑地が多く存在することから、緑被率の減少も大きい結果となった。一方、板橋地域は屋敷林等の民有地の樹木被覆地が少なく、建築物等の建替えによって消失した緑被地も小規模なものが多いことから、全体の減少量としては5地域中最も小さいと考えられる。

表4-24 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）（1）

地域	面積 (ha)	平成26年						令和元年					
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)	樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	525.00	62.57	8.87	0.16	3.09	74.70	14.23	61.52	8.90	0.02	2.33	72.77	13.86
常盤台	467.10	69.86	9.64	0.34	1.20	81.04	17.35	66.73	7.58	0.32	1.02	75.66	16.20
志村	644.60	96.58	12.14	3.85	2.20	114.78	17.81	92.09	11.93	2.76	2.10	108.89	16.89
赤塚	655.00	111.48	12.78	16.78	1.47	142.51	21.76	103.40	14.54	14.78	1.27	133.99	20.46
高島平	925.30	116.89	117.52	0.94	3.34	238.69	25.80	112.61	115.14	0.92	3.06	231.73	25.04
区全域	3217.00	457.38	160.96	22.07	11.31	651.71	20.26	436.36	158.10	18.80	9.78	623.04	19.37

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表4-25 5地域別の緑被地の変化（1㎡以上）（2）

地域	面積 (ha)	増減(平成26年-令和元年)					
		樹木 被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上 緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (%)
板橋	525.00	▲ 1.05	0.03	▲ 0.15	▲ 0.76	▲ 1.93	▲ 0.37
常盤台	467.10	▲ 3.12	▲ 2.06	▲ 0.02	▲ 0.17	▲ 5.38	▲ 1.15
志村	644.60	▲ 4.49	▲ 0.21	▲ 1.08	▲ 0.11	▲ 5.89	▲ 0.91
赤塚	655.00	▲ 8.08	1.76	▲ 2.00	▲ 0.21	▲ 8.52	▲ 1.30
高島平	925.30	▲ 4.28	▲ 2.37	▲ 0.02	▲ 0.29	▲ 6.96	▲ 0.75
区全域	3217.00	▲ 21.02	▲ 2.86	▲ 3.27	▲ 1.53	▲ 28.67	▲ 0.89

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

【板橋地域】

- ・板橋地域では「樹木被覆地」が1.05haの減少、「草地」が0.03haの増加、「屋上緑化」が0.76haの減少で、「緑被地」全体で1.93haの減少であった。
- ・「樹木被覆地」の主な減少は、東板橋公園の整備および都営住宅の建替えに伴う減少、国道254号線の街路樹の剪定等による樹冠面積の縮小であった。
- ・建築工事が完了し、新たに「樹木被覆地」が増加している箇所も確認できた。
- ・「草地」の主な増加箇所は、東京都健康長寿医療センターの更地化による未利用地草地であった。

東板橋公園 板橋三丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



令和元年



都営大山西町アパート 大山西町（樹木被覆地の減少）

平成 26 年

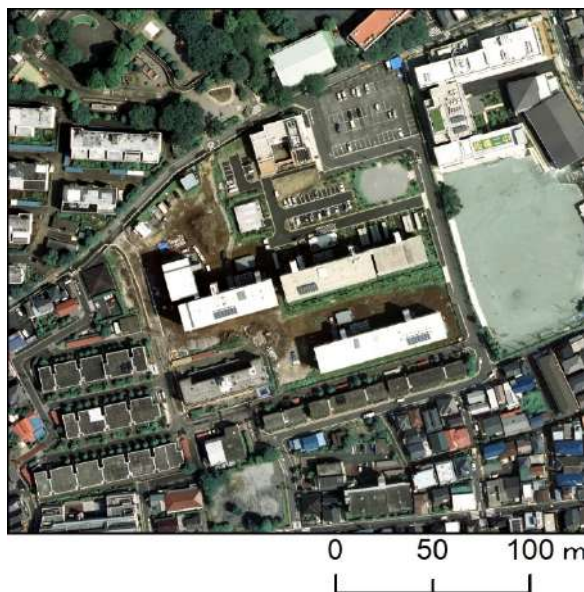


令和元年

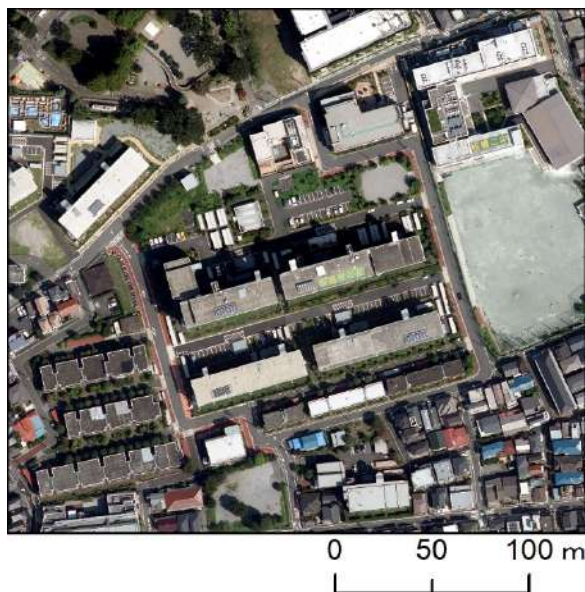


都営幸町アパート 幸町（樹木被覆地の増加）

平成 26 年

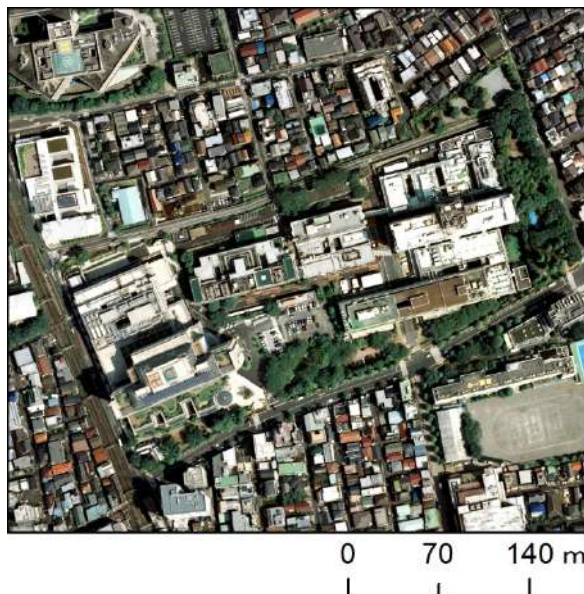


令和元年

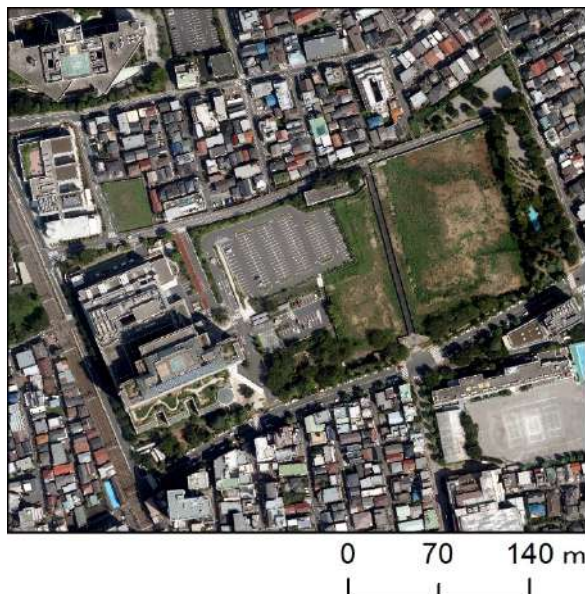


東京都健康長寿医療センター 栄町（草地の増加）

平成 26 年



令和元年



【常盤台地域】

- ・ 常盤台地域では「樹木被覆地」が3.12haの減少、「草地」が2.06haの減少、「屋上緑化」が0.17haの減少で、「緑被地」全体で5.38haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少箇所は、向原団地、板橋区平和公園、板橋第十小学校等で、その他にも開発事業や建築物の建替えに伴う減少が多数確認されている。
- ・ 「樹木被覆地」の主な増加としては、都道441号線の工事完了による街路樹の増加、心身障害児総合医療療育センター内の樹木の生長等であった
- ・ 「草地」の主な減少箇所は、開発事業による減少、都営住宅において建替えに伴わない減少が確認されている。

板橋区平和公園 常盤台四丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



令和元年

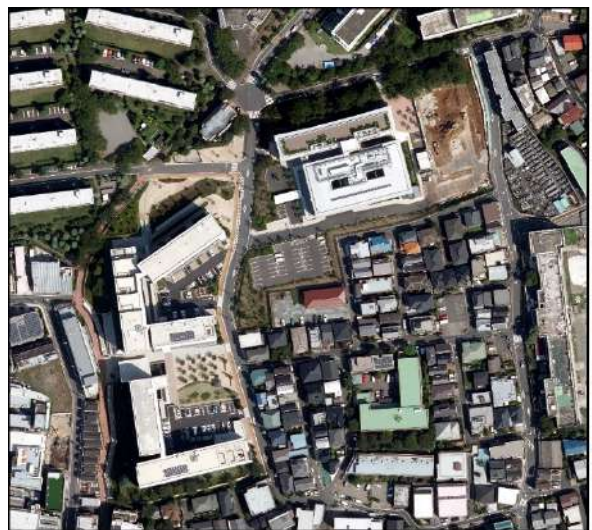


向原団地 向原三丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



令和元年



都道 441 号線 向原一丁目、向原二丁目（樹木被覆地の増加）

平成 26 年



0 40 80 m

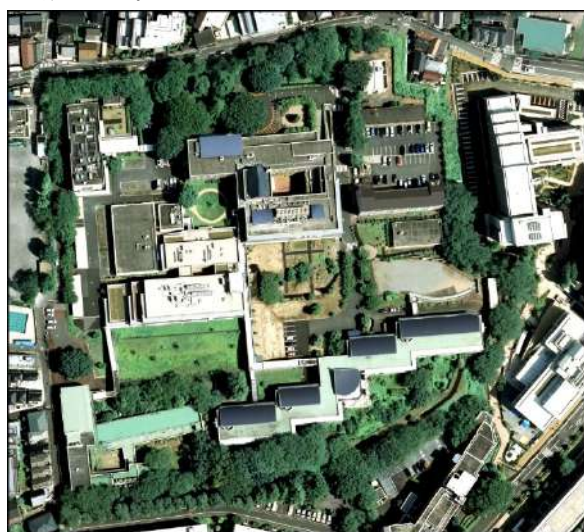
令和元年



0 40 80 m

心身障害児総合医療療育センター 小茂根一丁目（樹木被覆地の増加）

平成 26 年



0 45 90 m

令和元年



0 45 90 m

【志村地域】

- ・ 志村地域では「樹木被覆地」が4.49haの減少、「草地」が0.21haの減少、「農地」が1.08haの減少、「屋上緑化」が0.11haの減少で、「緑被地」全体で5.89haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の主な減少要因は、西台や若木の屋敷林の住宅開発によるものである。その他、小豆沢公園や前野公園の整備に伴う樹木減少も確認された。
- ・ 一方で、平成26年度調査時は工事中や更地であったが、施設工事等の完成による「樹木被覆地」等の緑地の増加が確認されている。
- ・ 「農地」の減少要因も住宅開発によるものであった。

小豆沢公園 小豆沢三丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



令和元年



前野公園 前野町五丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



令和元年



中台中学校 中台一丁目（樹木被覆地、屋上緑化の増加）
平成 26 年



0 37.5 75 m

令和元年



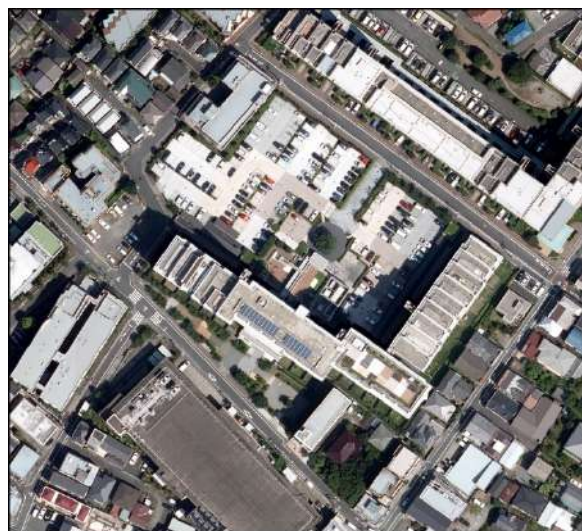
0 37.5 75 m

前野町二丁目（樹木被覆地、草地、屋上緑地の増加）
平成 26 年



0 37.5 75 m

令和元年



0 37.5 75 m

【赤塚地域】

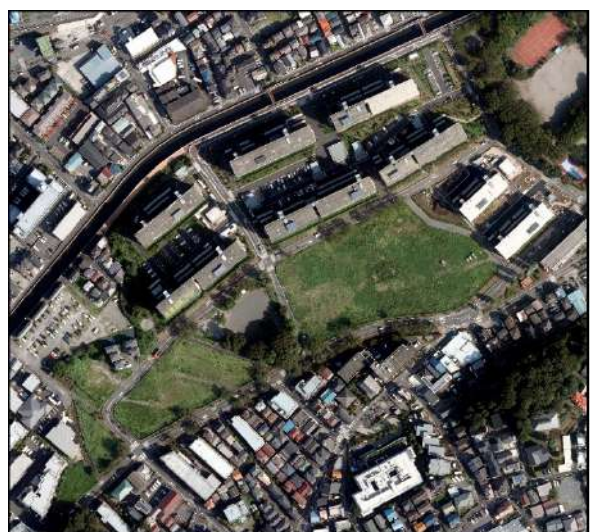
- ・ 赤塚地域では「樹木被覆地」が8.08haの減少、「草地」が1.76haの増加、「農地」が2.00haの減少、「屋上緑化」が0.21haの減少で、「緑被地」全体で8.52haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の減少箇所の多くが、屋敷林から戸建住宅や集合住宅への開発に伴うものであった。その他、都営成増アパートの建替えによる更地化、公園や緑道の整備による樹木の減少も見られた。
- ・ 都営成増アパートの建替えでは、工事の完了による新たな「樹木被覆地」が整備されているほか、都立赤塚公園では樹木の生長による増加も確認できる。
- ・ 「農地」の減少は、農地の宅地開発によるものであった。

都営成増アパート 成増五丁目（樹木被覆地の増加と減少）

平成 26 年



令和元年



都立赤塚公園 四葉二丁目（樹木被覆地の増加）

平成 26 年



令和元年



前谷津川緑道 徳丸六丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



0 45 90 m

令和元年



0 45 90 m

成増小学校 成増一丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



0 37.5 75 m

令和元年



0 37.5 75 m

【高島平地域】

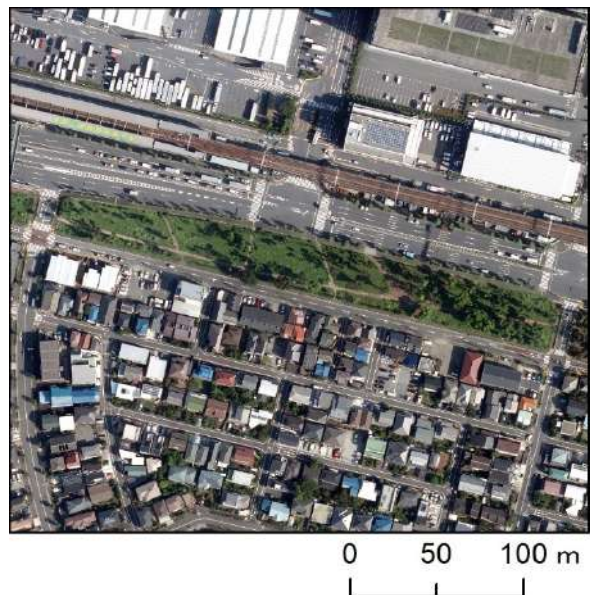
- ・ 高島平地域では「樹木被覆地」が4.28haの減少、「草地」が2.37haの減少、「農地」が0.02haの減少、「屋上緑化」が0.29haの減少で、「緑被地」全体で6.96haの減少であった。
- ・ 「樹木被覆地」の減少の主な要因は、建築物の建替えによる減少、公園緑地や学校等での樹木の減少によるものであった。
- ・ 荒川河川敷内では樹木の灌木化によって「草地」から「樹木被覆地」へ変化している箇所がみられた。
- ・ 樹木の生長によって「樹木被覆地」が増加した箇所が確認できた。

高島平緑地 高島平五丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年

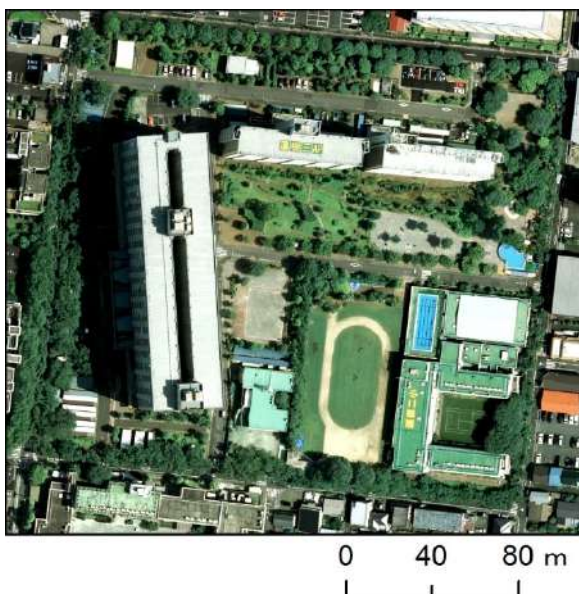


令和元年

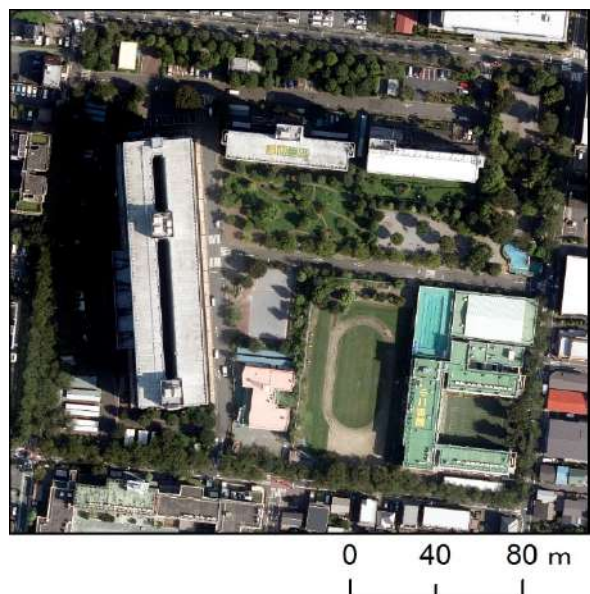


蓮根三丁目（樹木被覆地の増加）

平成 26 年



令和元年



志村第六小学校 坂下二丁目（樹木被覆地の減少）

平成 26 年



0 45 90 m

令和元年



0 45 90 m

荒川河川敷 舟渡二丁目（樹木被覆地の増加）

平成 26 年



0 35 70 m

令和元年



0 35 70 m

2) - 5 平成26年度調査との比較（32地区別）

- ・ 緑被率増加の地区別順位を表4-26、緑被率減少の地区別順位を表4-27、地区別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）を図4-34に示す。
- ・ 「緑被率」が最も増加したのは小豆沢地区で0.76ポイント、次いで舟渡地区が0.55ポイント、大谷口地区が0.24ポイントの増加であった。
- ・ 「緑被率」が最も減少したのが西台地区で3.04ポイントの減少、次いで若木地区が2.88ポイント、三園地区が2.13ポイントの減少であった。

表4-26 緑被率増加の地区別順位

順位	地区	緑被率増減 (ポイント差)
1	小豆沢	0.76
2	舟渡	0.55
3	大谷口	0.24
4	中板橋	0.18
5	幸町	0.14
	区平均	▲ 0.89

表 4-27 緑被率減少の地区別順位

順位	地区	緑被率増減 (ポイント差)
1	西台	▲ 3.04
2	若木	▲ 2.88
3	三園	▲ 2.13
4	上板橋	▲ 2.08
5	徳丸	▲ 1.96
	区平均	▲ 0.89

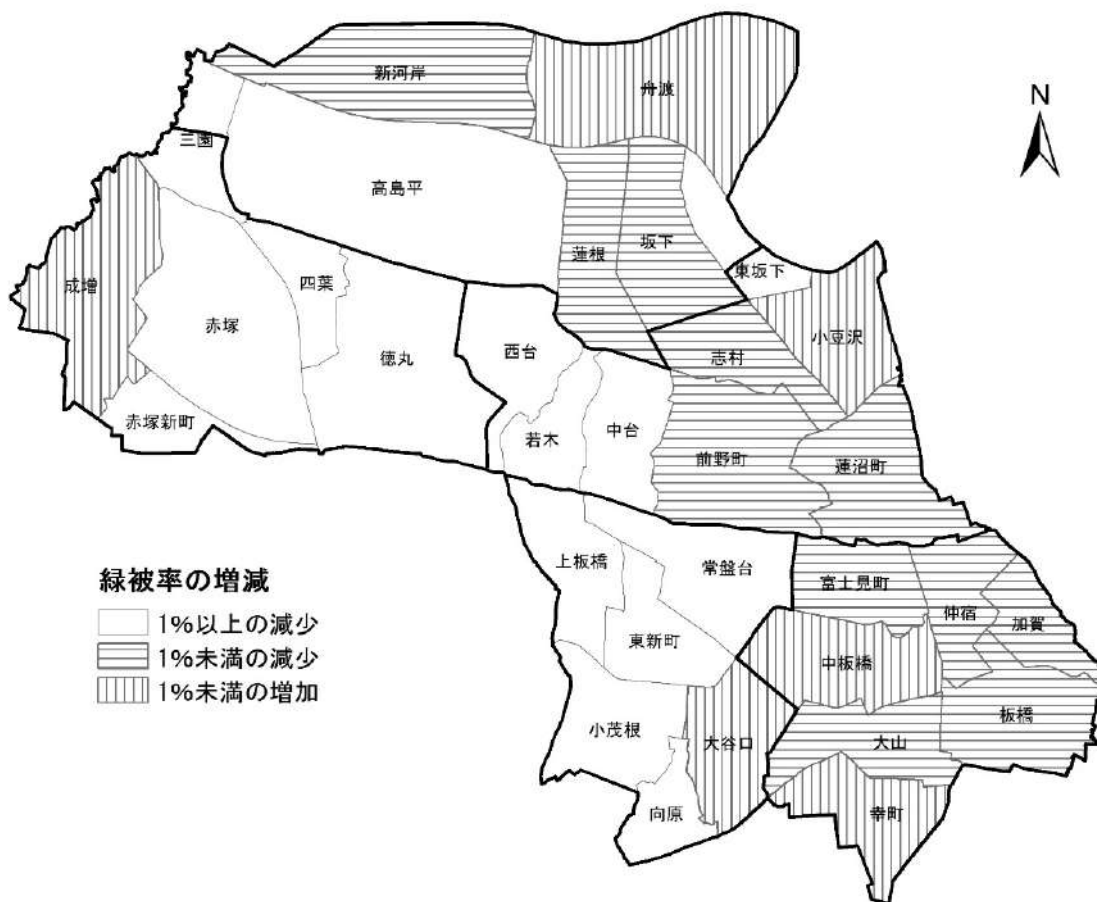


図4-34 地区別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）

2) - 6 平成26年度調査との比較（町丁目別）

- ・ 緑被率増加の町丁目別順位を表4-28、緑被率減少の町丁目別順位を表4-29、町丁目別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）を図4-35に示す。
- ・ 町丁目別では「緑被率」が3ポイント以上増加したのが1町丁目、1ポイント以上3ポイント未満の増加が7町丁目、1ポイント未満の増加が25町丁目、1ポイント未満の減少が42町丁目、1ポイント以上の減少が59町丁目であった。
- ・ 「緑被率」の増加が最も大きいのが栄町で4.22ポイントの増加、次いで大谷口一丁目が2.53ポイント、小豆沢一丁目が2.17ポイントの増加であった。
- ・ 「緑被率」の減少では若木三丁目が6.71ポイント、向原三丁目が5.40ポイント、小茂根五丁目が5.03ポイントの減少であった。

表 4-28 緑被率増加の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率増減 (ポイント差)
1	栄町	4.22
2	大谷口一丁目	2.53
3	小豆沢一丁目	2.17
4	小豆沢三丁目	2.03
5	向原一丁目	1.70
	区平均	▲ 0.89

表 4-29 緑被率減少の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率増減 (ポイント差)
1	若木三丁目	▲ 6.71
2	向原三丁目	▲ 5.40
3	小茂根五丁目	▲ 5.03
4	西台三丁目	▲ 4.42
5	徳丸五丁目	▲ 4.39
	区平均	▲ 0.89

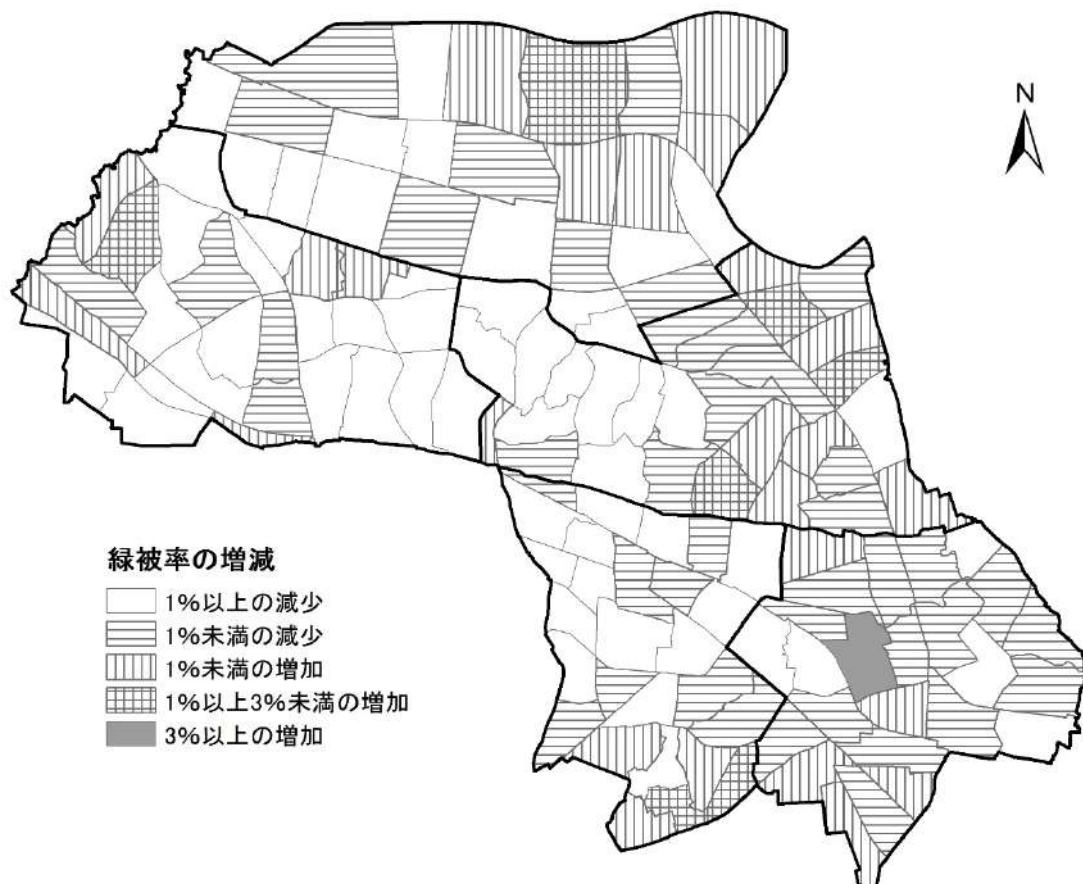


図4-35 町丁目別の緑被率の変化状況（1㎡以上の緑被地）

2) - 7 平成26年度調査との比較（土地利用別）

- ・ 平成26年度調査と令和元年度調査の土地利用別緑被推移量を表4-30に示す。
- ・ 宅地（公共用地、商業用地、住宅、工業用地）における緑被率の増加が最も大きい土地利用は、公衆浴場等（3.59ポイント増）、次いで厚生施設（1.89ポイント増）、処理施設（1.43ポイント増）、医療施設（1.24ポイント増）であった。ただし、公衆浴場等は令和元年度の敷地面積が2.7haと小さい。
- ・ 宅地における緑被率が減少した土地利用は、文化施設（2.49ポイント減）、スポーツ施設（2.26ポイント減）、教育施設（1.91ポイント減）、独立住宅（1.38ポイント減）であった。ただし、文化施設とスポーツ施設の敷地面積は小さい。
- ・ 独立住宅は敷地面積が12.5ha増加しているが、緑被地面積は6.61haの減少であった。屋敷林を有する敷地規模の大きい独立住宅、農地、未利用地から、敷地規模の小さい独立住宅への変化が各所で見られることから、敷地面積は増加しているが、緑被地面積は減少していると考えられる。
- ・ 集合住宅は、敷地面積が27.2ha、緑被地面積が4.08haの増加で、緑被率は0.01ポイントの減少であった。敷地規模の大きい集合住宅の多くが、緑化指導の対象となっており、緑化基準に基づく緑地の整備が義務付けられていることから、集合住宅の新築、建替えに伴い、緑被地面積も増加したものと考えられる。なお、緑被地面積は増加であるが、新規に植えられた樹木等は樹冠面積が小さい等の理由から、緑被率としては減少となった。
- ・ 区全体面積の約2割を占める道路では、緑被地面積が13.05ha、緑被率が2.10ポイントの減少で、緑被の減少量が大きい。道路整備によって新たに街路樹が整備されているが、街路樹は剪定管理が必要であることから、剪定による樹冠面積の縮小によって、緑被地面積が減少したと考えられる。

表4-30 土地利用別の緑被推移量（平成26年－令和元年）

土地利用		敷地面積 (ha)	樹木 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)	緑被地 (ha)	緑被率 (ポイント差)
公共用地	官公庁施設	0.2	▲ 0.09	0.05	▲ 0.00	0.04	▲ 0.00	▲ 0.36
	教育施設	2.1	▲ 3.27	0.65	0.07	0.26	▲ 2.29	▲ 1.91
	文化施設	▲ 0.0	▲ 0.11	0.01	0.00	▲ 0.00	▲ 0.10	▲ 2.49
	宗教施設	▲ 0.4	▲ 0.31	▲ 0.04	0.15	▲ 0.00	▲ 0.21	▲ 0.20
	医療施設	2.3	0.94	▲ 0.21	▲ 0.00	0.12	0.84	1.24
	厚生施設	8.3	1.22	1.02	▲ 0.01	0.10	2.34	1.89
	供給施設	▲ 0.5	▲ 0.03	▲ 0.08	▲ 0.00	▲ 0.02	▲ 0.13	0.00
	処理施設	0.1	0.36	0.13	0.00	▲ 0.04	0.45	1.43
	計	12.1	▲ 1.29	1.52	0.21	0.46	0.90	▲ 0.73
商業用地	事務所建築物	▲ 1.3	▲ 0.06	▲ 0.03	▲ 0.00	0.00	▲ 0.09	0.05
	商業施設	4.1	0.10	0.07	▲ 0.01	0.06	0.22	▲ 0.08
	公衆浴場等	0.2	0.08	0.02	0.00	0.01	0.12	3.59
	住商併用建物	▲ 5.2	▲ 0.55	▲ 0.10	0.02	▲ 0.33	▲ 0.96	▲ 0.60
	宿泊施設	▲ 0.3	0.02	▲ 0.06	0.00	▲ 0.01	▲ 0.05	0.30
	遊興施設	▲ 0.4	▲ 0.01	▲ 0.03	0.00	▲ 0.00	▲ 0.04	▲ 0.20
	スポーツ施設	▲ 0.5	▲ 0.22	▲ 0.05	0.00	0.06	▲ 0.21	▲ 2.26
	計	▲ 3.4	▲ 0.64	▲ 0.17	0.01	▲ 0.22	▲ 1.02	▲ 0.35
住宅	独立住宅	12.5	▲ 4.33	▲ 1.91	0.11	▲ 0.48	▲ 6.61	▲ 1.38
	集合住宅	27.2	5.41	▲ 0.82	▲ 0.00	▲ 0.50	4.08	▲ 0.01
	計	39.7	1.07	▲ 2.73	0.11	▲ 0.98	▲ 2.53	▲ 0.71
工業用地	専用工場	▲ 10.7	0.17	▲ 0.35	▲ 0.01	▲ 0.05	▲ 0.23	0.55
	住居併用工場	▲ 3.7	▲ 0.24	0.01	▲ 0.01	▲ 0.16	▲ 0.39	▲ 0.52
	運輸施設	▲ 1.4	▲ 0.24	▲ 0.04	0.00	0.04	▲ 0.23	▲ 0.33
	倉庫施設	▲ 1.6	▲ 0.19	▲ 0.08	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.39	▲ 0.56
	計	▲ 17.4	▲ 0.49	▲ 0.45	▲ 0.06	▲ 0.24	▲ 1.24	0.02
空地	屋外利用地	▲ 20.9	▲ 1.25	▲ 2.25	▲ 0.10	▲ 0.17	▲ 3.77	▲ 1.04
	公園・運動場等	▲ 0.8	▲ 4.74	1.56	0.06	0.04	▲ 3.09	▲ 1.05
	未利用地等	▲ 8.6	▲ 0.69	0.11	▲ 0.22	▲ 0.27	▲ 1.06	6.68
	計	▲ 30.4	▲ 6.68	▲ 0.58	▲ 0.26	▲ 0.41	▲ 7.92	1.50
道路		2.0	▲ 11.31	▲ 1.37	▲ 0.21	▲ 0.16	▲ 13.05	▲ 2.10
鉄道		▲ 0.0	▲ 0.33	▲ 0.31	0.00	0.00	▲ 0.64	▲ 2.60
農業用地	農林漁業施設	0.0	▲ 0.00	▲ 0.00	0.02	0.00	0.02	5.30
	畑	▲ 3.3	▲ 0.86	0.11	▲ 3.13	0.01	▲ 3.87	▲ 5.03
	樹園地	▲ 0.0	▲ 0.05	0.07	0.02	0.00	0.04	3.39
	計	▲ 3.3	▲ 0.91	0.18	▲ 3.08	0.01	▲ 3.80	▲ 4.33
水面・河川		0.0	▲ 0.29	▲ 0.13	0.00	0.00	▲ 0.42	▲ 0.47
林野	原野	0.7	▲ 0.13	1.18	0.00	0.00	1.06	1.92
	森林	0.1	▲ 0.01	▲ 0.00	0.00	0.00	▲ 0.01	▲ 13.40
	計	0.8	▲ 0.14	1.18	0.01	0.00	1.05	1.62
区全体		0.0	▲ 21.02	▲ 2.86	▲ 3.27	▲ 1.53	▲ 28.67	▲ 0.89

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

3) みどり率の推移

3) - 1 平成26年度調査との比較（区全域）

- ・ みどり面積およびみどり率の推移を表4-31、みどり面積の変化状況を図4-36に示す。
- ・ 「みどり面積」は平成26年度調査では776.92haであったが、令和元年度調査では751.20haとなり25.72haの減少であった。
- ・ 「みどり率」は平成26年度調査では24.15%、令和元年度調査では23.35%であり、0.80ポイントの減少であった。
- ・ 公園以外の緑被地が24.18ha、公園以外の水面が0.58ha、公園面積が0.96haの減少で、公園以外の緑被地面積の減少が大きい。
- ・ 緑被地面積は28.67haの減少に対して、みどり面積は25.72haの減少であり、減少量は小さい。これは公園内の緑被地の減少がみどり率では反映されないことによる。

表 4-31 みどり面積およびみどり率の推移

項目	平成26年		令和元年		増減	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差
公園以外の緑被地	508.15	15.80	483.97	15.04	▲ 24.18	▲ 0.75
公園以外の水面	66.49	2.07	65.91	2.05	▲ 0.58	▲ 0.02
公園面積	202.28	6.29	201.32	6.26	▲ 0.96	▲ 0.03
みどり計	776.92	24.15	751.20	23.35	▲ 25.72	▲ 0.80

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

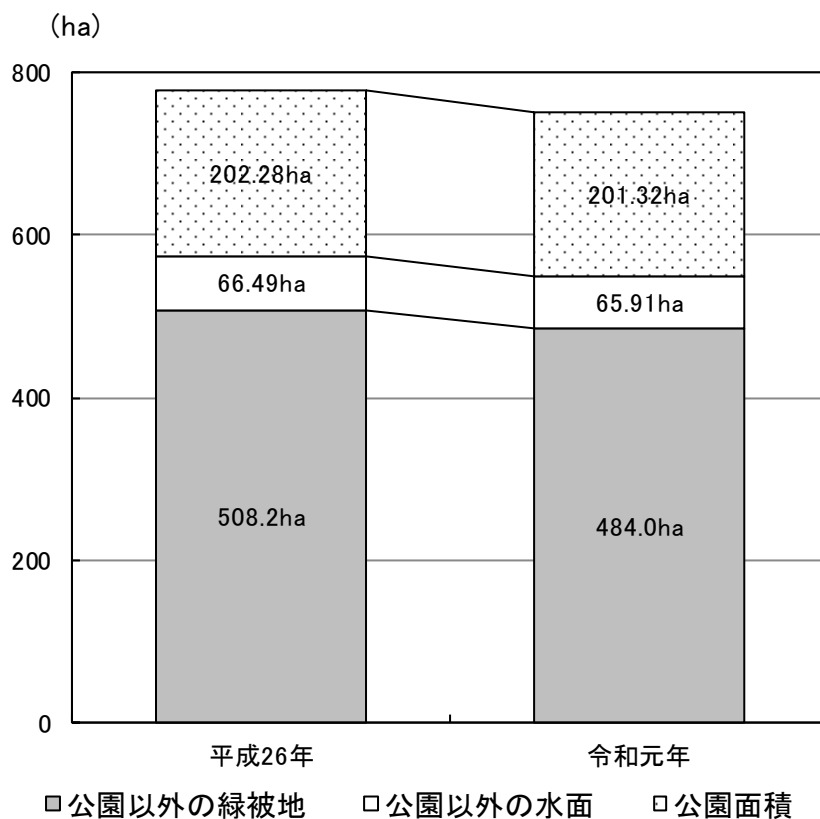


図 4-36 みどり面積の変化状況

3) - 2 平成26年度調査との比較（5地域別）

- ・ 平成26年度調査の5地域別のみどり率を表4-32、令和元年度調査の5地域別のみどり率を表4-33、5地域別のみどり率の推移を表4-34に示す。
- ・ みどり率の5地域別の推移では全ての地域で減少した。最も減少が大きい地域は赤塚地域1.20ポイント減、次いで常盤台1.05ポイント減であった。
- ・ 公園以外の緑被地面積は全ての地域で減少しており、公園面積は常盤台地域と赤塚地域で減少した。都立城北中央公園の一部区域が廃止されたため、常盤台地域の減少が大きい。

表 4-32 平成 26 年度調査の 5 地域別みどり率

地域	地区面積 (ha)	平成26年度調査				
		みどり 面積 (ha)	公園以外 の緑被地 (ha)	公園以外 の水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)
板橋	525.0	83.62	67.11	2.26	14.25	15.93
常盤台	467.1	90.64	65.52	3.07	22.05	19.41
志村	672.3	137.49	106.20	5.44	25.85	20.45
赤塚	679.3	156.86	119.16	2.63	35.07	23.09
高島平	873.3	308.30	150.16	53.09	105.05	35.30
区全域	3217.0	776.92	508.15	66.49	202.28	24.15

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表 4-33 令和元年度調査の 5 地域別みどり率

地域	地区面積 (ha)	令和元年度調査				
		みどり 面積 (ha)	公園以外 の緑被地 (ha)	公園以外 の水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (%)
板橋	525.0	82.37	65.78	2.34	14.26	15.69
常盤台	467.1	85.74	61.62	2.90	21.21	18.35
志村	672.3	132.20	100.90	5.41	25.89	19.66
赤塚	679.3	148.68	111.15	2.67	34.86	21.89
高島平	873.3	302.20	144.51	52.59	105.10	34.60
区全域	3217.0	751.20	483.97	65.91	201.32	23.35

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表 4-34 5 地域別みどり率の推移

地域	推移(令和元年ー平成26年)				
	みどり 面積 (ha)	公園以外 の緑被地 (ha)	公園以外 の水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (ポイント)
板橋	▲ 1.25	▲ 1.33	0.08	0.01	▲ 0.24
常盤台	▲ 4.91	▲ 3.90	▲ 0.17	▲ 0.84	▲ 1.05
志村	▲ 5.29	▲ 5.30	▲ 0.03	0.04	▲ 0.79
赤塚	▲ 8.18	▲ 8.01	0.04	▲ 0.21	▲ 1.20
高島平	▲ 6.10	▲ 5.65	▲ 0.50	0.05	▲ 0.70
区全域	▲ 25.72	▲ 24.18	▲ 0.58	▲ 0.95	▲ 0.80

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

3) - 3 平成26年度調査との比較（32地区別）

- ・ 地区別のみどり率の推移を表4-35に示す。
- ・ みどり率の32地区別推移では25地区で減少しており、7地区で増加であった。
- ・ 公園面積の変化は小さく、公園以外の緑被地の変化の影響が大きい。

表 4-35 地区別みどり率の推移

地区名	みどり面積 (ha)	公園以外の 緑被地 (ha)	公園以外の 水面 (ha)	公園面積 (ha)	みどり率 (ポイント)
板橋	▲ 0.67	▲ 0.67	0.00	0.00	▲ 0.66
加賀	▲ 0.05	▲ 0.06	0.01	0.00	▲ 0.10
仲宿	▲ 0.52	▲ 0.48	▲ 0.04	0.00	▲ 0.91
幸町	0.13	0.13	0.00	0.00	0.17
大山	▲ 0.14	▲ 0.14	0.00	▲ 0.00	▲ 0.17
中板橋	0.20	0.20	0.00	0.00	0.19
富士見町	▲ 0.19	▲ 0.31	0.11	0.01	▲ 0.31
常盤台	▲ 1.34	▲ 1.35	0.01	0.00	▲ 1.26
向原	▲ 0.53	▲ 0.51	▲ 0.02	0.00	▲ 1.24
大谷口	0.18	0.25	▲ 0.07	0.00	0.22
小茂根	▲ 1.32	▲ 0.30	▲ 0.00	▲ 1.02	▲ 1.45
東新町	▲ 0.80	▲ 0.76	▲ 0.03	▲ 0.00	▲ 1.19
上板橋	▲ 1.10	▲ 1.23	▲ 0.05	0.18	▲ 1.43
蓮沼町	▲ 0.33	▲ 0.33	▲ 0.00	0.00	▲ 0.29
小豆沢	1.18	1.21	▲ 0.04	0.00	1.35
志村	▲ 0.46	▲ 0.46	0.00	0.00	▲ 0.64
前野町	0.23	0.19	▲ 0.00	0.04	0.16
中台	▲ 1.35	▲ 1.36	0.01	0.00	▲ 1.89
若木	▲ 1.43	▲ 1.43	0.00	▲ 0.00	▲ 2.69
東坂下	▲ 0.75	▲ 0.75	▲ 0.00	0.00	▲ 1.64
西台	▲ 2.37	▲ 2.37	0.00	0.00	▲ 2.78
徳丸	▲ 3.33	▲ 3.36	▲ 0.00	0.03	▲ 1.78
四葉	▲ 0.75	▲ 0.78	▲ 0.00	0.03	▲ 1.55
赤塚	▲ 2.52	▲ 2.54	▲ 0.00	0.03	▲ 1.29
赤塚新町	▲ 0.74	▲ 0.72	▲ 0.03	0.00	▲ 1.52
成増	0.33	0.58	0.04	▲ 0.29	0.23
三園	▲ 1.17	▲ 1.19	0.03	0.00	▲ 2.02
坂下	▲ 0.80	▲ 0.78	▲ 0.02	▲ 0.00	▲ 0.83
蓮根	▲ 0.61	▲ 0.59	▲ 0.02	▲ 0.00	▲ 0.65
舟渡	0.30	0.51	▲ 0.21	0.00	0.14
高島平	▲ 4.15	▲ 4.19	▲ 0.01	0.04	▲ 1.32
新河岸	▲ 0.84	▲ 0.60	▲ 0.24	0.00	▲ 0.52
区全域	▲ 25.72	▲ 24.18	▲ 0.58	▲ 0.95	▲ 0.80

※小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。